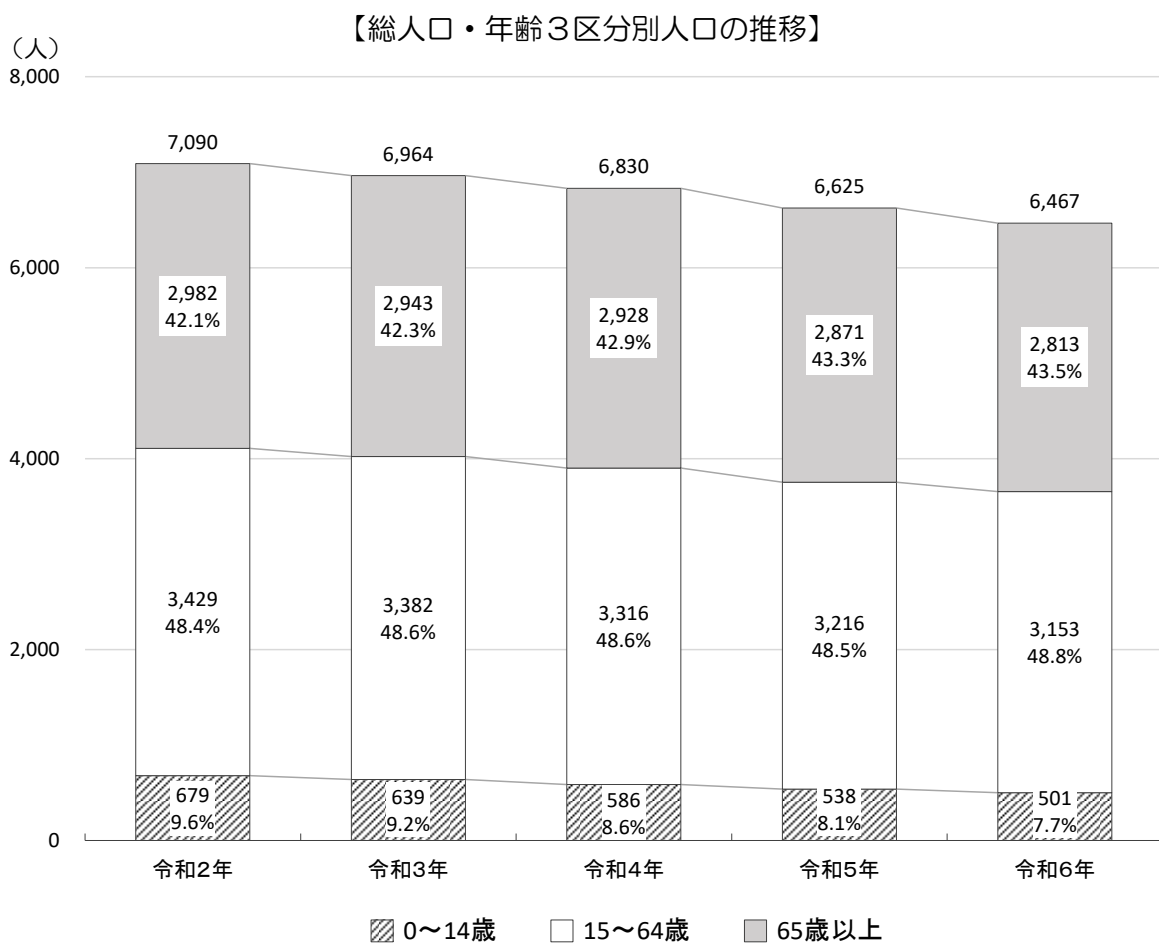


## 第2章 河津町の子どもをとりまく現状

### 1 統計データからみる町の現状

#### (1) 総人口・年齢3区分別人口

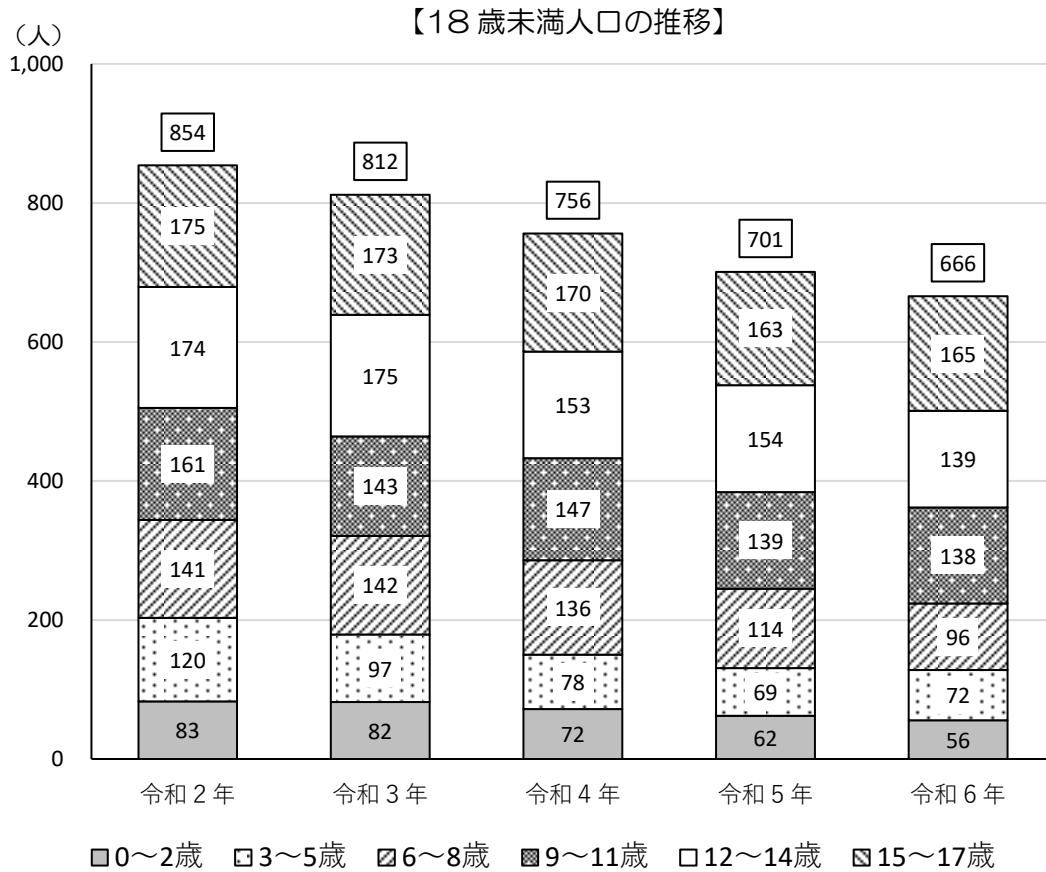
総人口は減少傾向で推移しており、令和6年には6,467人となっています。年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）ともに減少傾向となっており、人口減少が進んでいます。



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

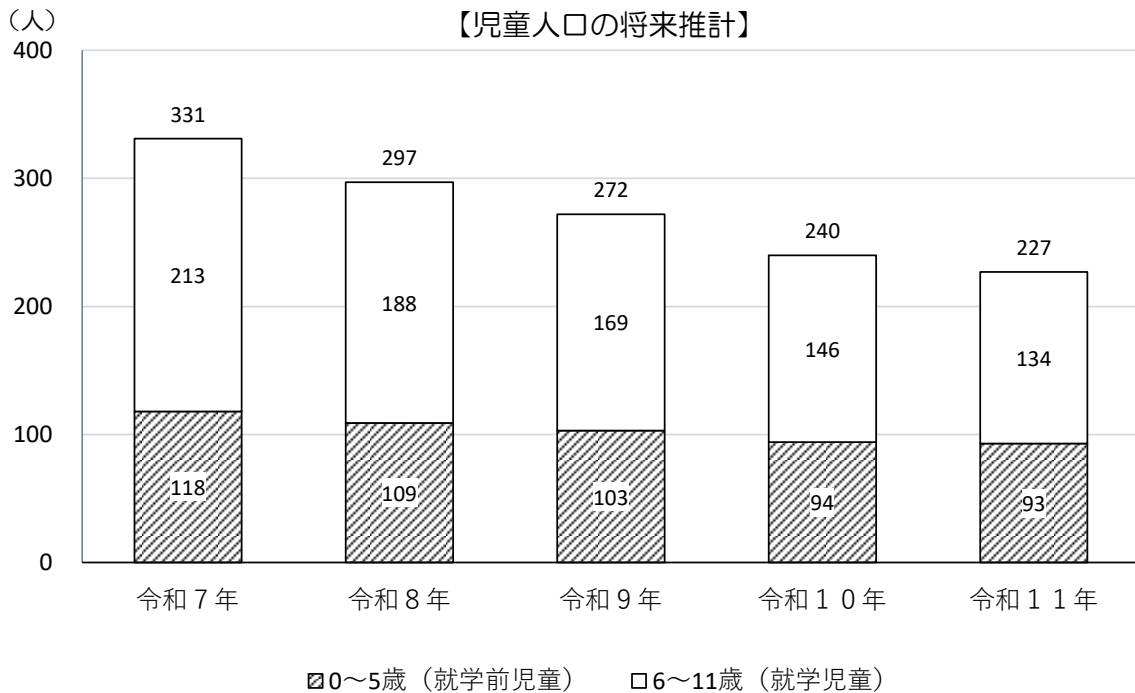
## (2) 18歳未満人口

18歳未満人口は減少傾向で推移しています。令和2年と比較すると、令和6年には188人減少の666人となっています。



### (3) 児童人口の将来推計

0歳から5歳までの就学前児童及び6歳から11歳までの就学児童の推計人口をみると、計画期間の令和7年から令和11年の間、減少傾向で推移していくことが見込まれます。



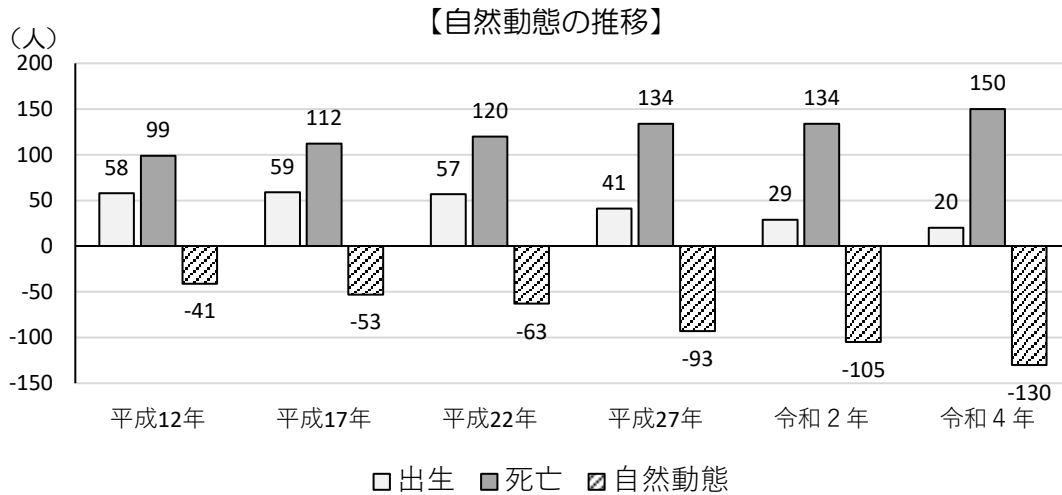
(人)

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
0歳	19	18	17	16	16
1歳	15	18	17	16	15
2歳	16	15	18	17	16
3歳	22	14	13	16	15
4歳	22	23	15	14	17
5歳	24	21	23	15	14
合計	118	109	103	94	93
6歳	27	24	22	23	15
7歳	23	27	24	22	23
8歳	27	23	27	24	22
9歳	46	27	23	27	24
10歳	41	46	27	23	27
11歳	49	41	46	27	23
合計	213	188	169	146	134

資料：住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法により推計

#### (4) 自然動態

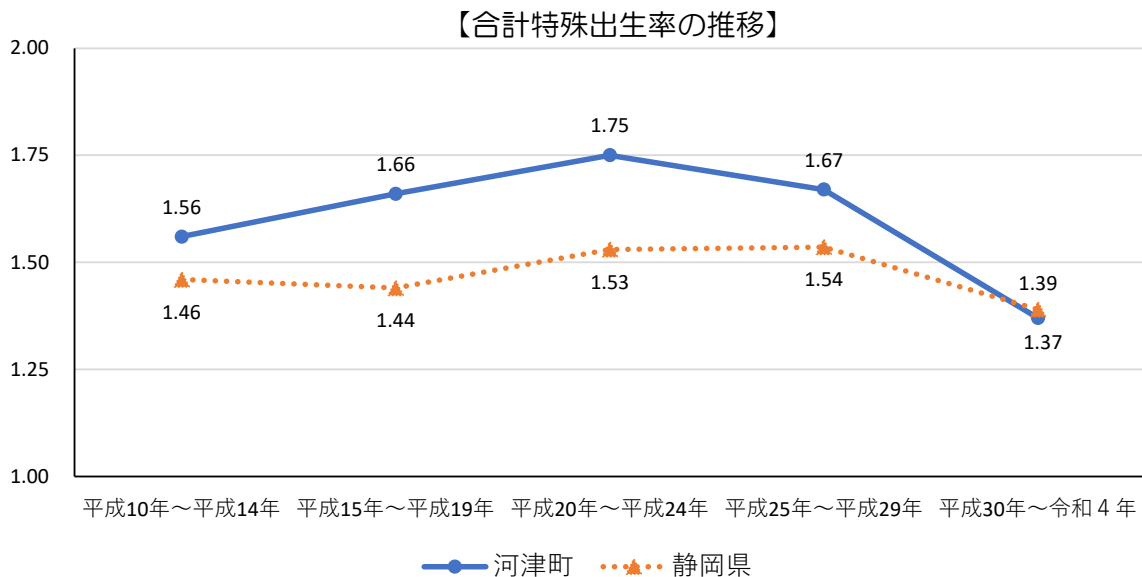
自然動態は減少傾向で推移しています。また、出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向で推移しています。



資料：人口動態調査

#### (5) 合計特殊出生率

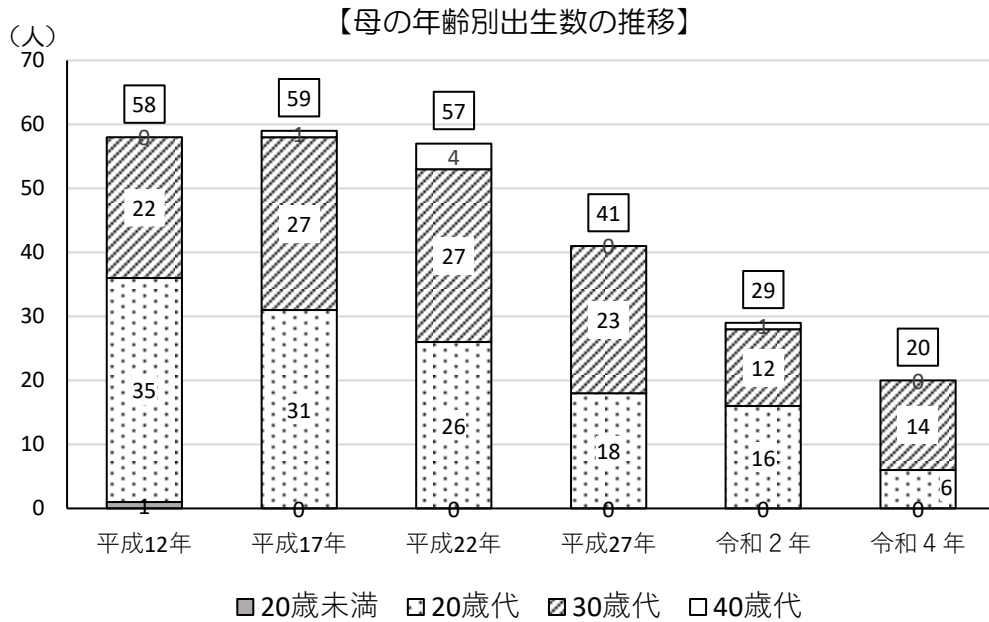
合計特殊出生率は静岡県よりも高く推移していましたが、平成30年～令和4年には1.37となり、静岡県の1.39を下回っています。



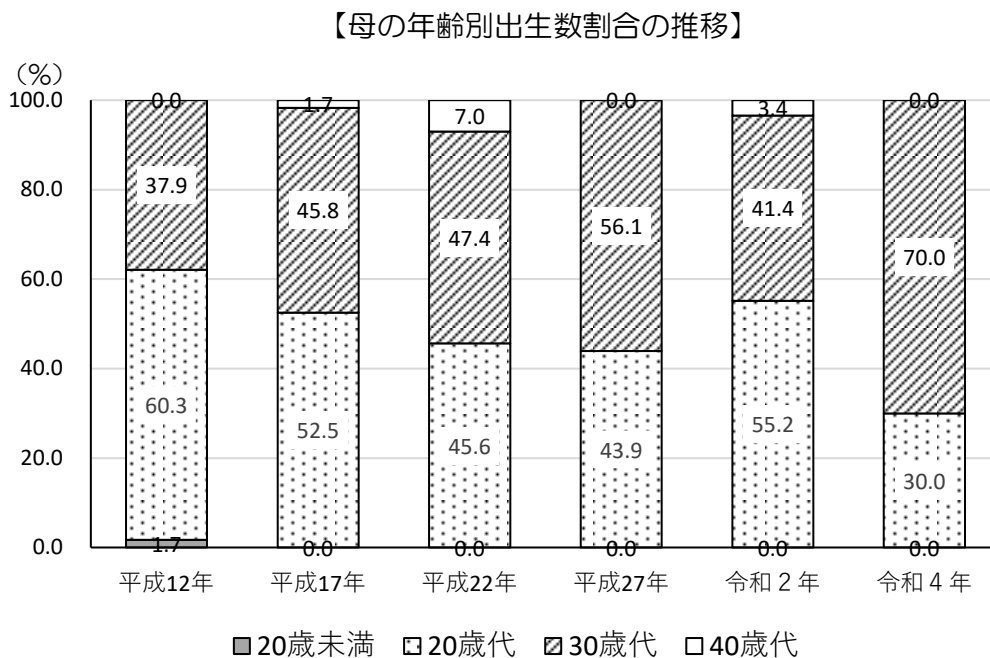
資料：人口動態保健所・市区町村別統計

## (6) 母の年齢別出生数

出生数を母の年齢別にみると、20歳代、30歳代の母が出産した子どもが9割以上を占めています。また、全体の出生数は減少傾向となっており、令和4年では全体で20人の出生数となっています。



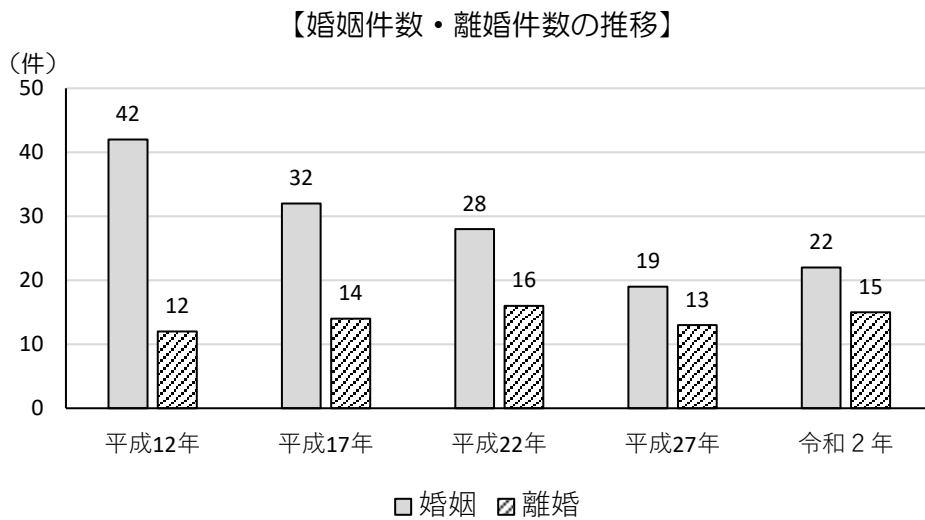
資料：人口動態調査



資料：人口動態調査

## (7) 婚姻件数・離婚件数

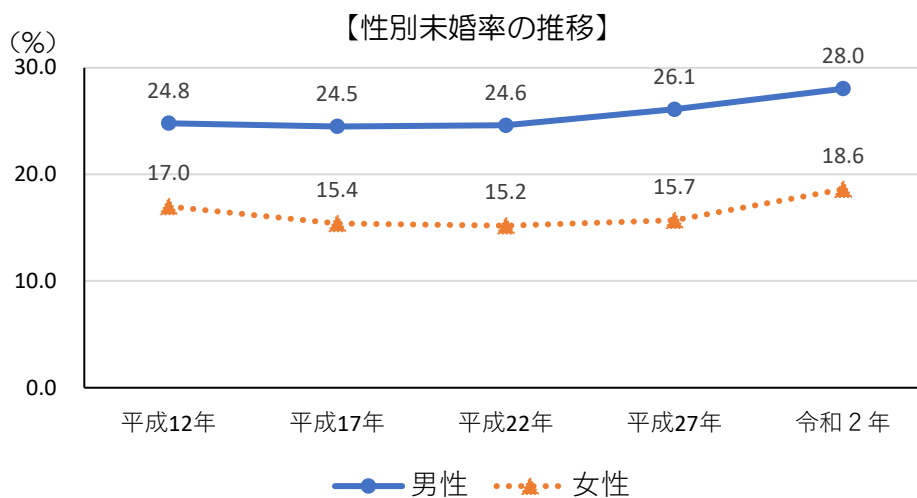
婚姻件数は減少傾向でしたが、令和2年には増加に転じて、22件となっています。離婚件数は15件程度で横ばいの推移となっています。



資料：静岡県人口動態統計

## (8) 未婚率

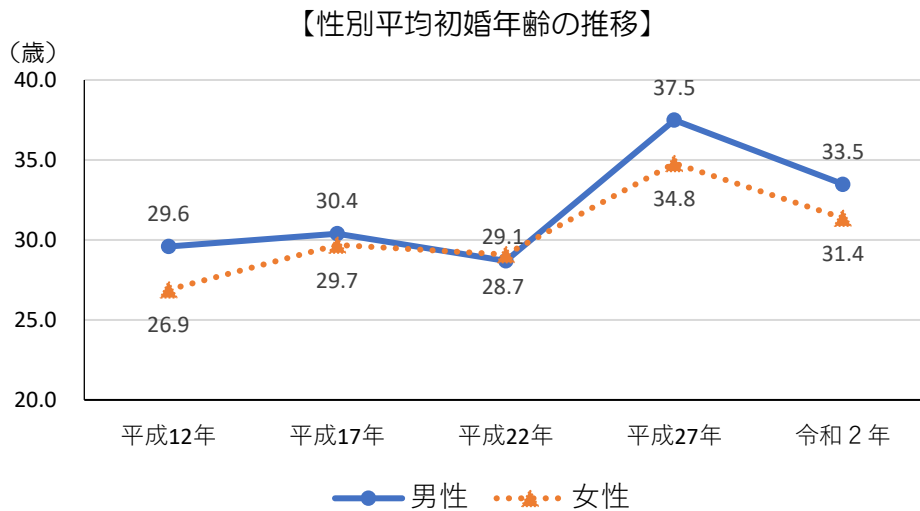
未婚率を性別で見ると、男性・女性ともに増加傾向で推移しており、令和2年には男性が28.0%、女性が18.6%となっています。



資料：国勢調査

## (9) 平均初婚年齢

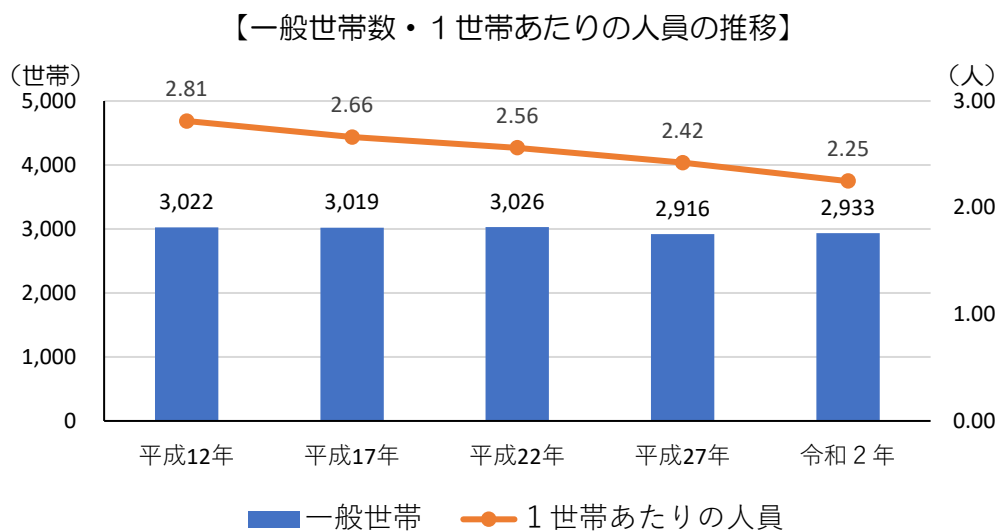
平均初婚年齢を性別にみると、男女ともに上昇・低下を繰り返しており、平成27年は男性では37.5歳、女性では34.8歳と過去最高年齢まで上昇しましたが、令和2年には男女ともに低下に転じています。



資料：静岡県人口動態統計

## (10) 一般世帯数・1世帯あたりの人員の推移

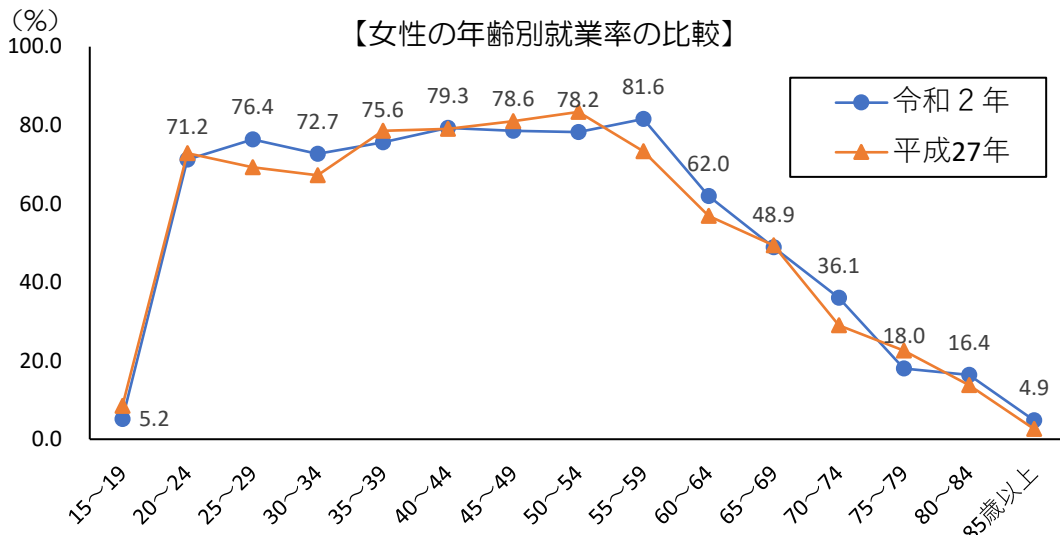
一般世帯数は、3,000世帯前後で推移しています。一方、1世帯あたりの人員は減少傾向で推移しており、令和2年には2.25人となっています。



資料：国勢調査

## (11) 女性の就業率

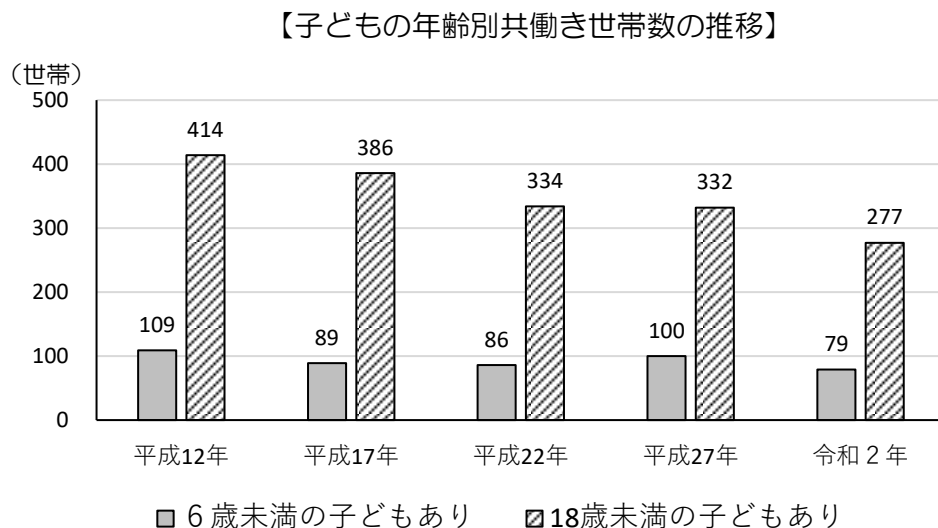
令和2年の女性の就業率を年齢層別にみると、20～59歳において7割以上と高くなっています。平成27年と比較すると、25～34歳で就業率が上昇しており、「婚姻～子育て開始時期」に仕事を辞めて、子どもが成長したら再就職するいわゆる“M字カーブ”の谷の部分が緩やかになっています。



資料：国勢調査

## (12) 子どものいる共働き世帯数

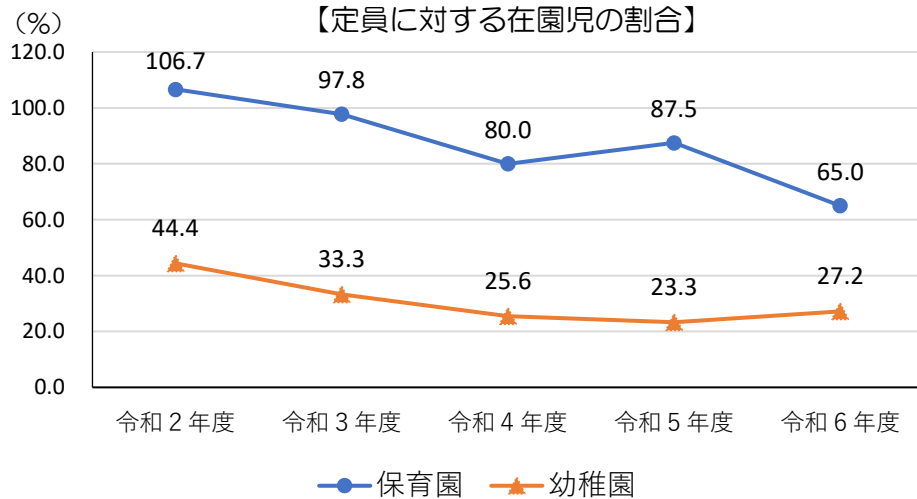
子どものいる共働き世帯数をみると、減少傾向で推移しており、令和2年には6歳未満の子どもがいる共働き世帯数は79世帯、18歳未満の子どもがいる共働き世帯数は277世帯となっています。



資料：国勢調査

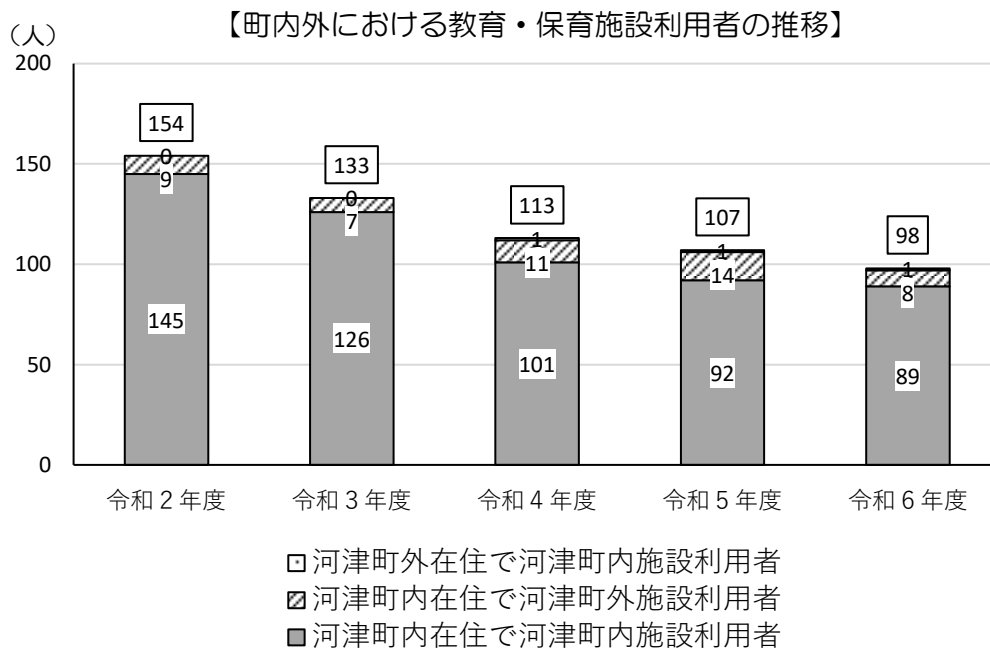
### (13) 保育園・幼稚園等在園児数等

定員に対する在園児の割合は、令和6年度現在保育園が65.0%（定員数40人）、幼稚園が27.2%（定員数180人）となっており、少子化が進み定員に余剰が発生しているため、施設運営の見直しが必要とされています。



資料：町資料

町内外における教育・保育施設利用者数は、令和6年度現在98人となっています。その内訳は、河津町内在住で河津町内施設利用者がほとんどで、9割以上を占めています。



資料：町資料

## (14) 児童数・生徒数

小学校の児童数、中学校の生徒数は減少傾向で推移しています。

【児童数・生徒数の状況】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	合計	(人) 303	283	282	252	233
	1年生	(人) 49	42	44	28	23
	2年生	(人) 48	50	42	44	27
	3年生	(人) 45	48	49	41	46
	4年生	(人) 55	44	48	49	41
	5年生	(人) 44	55	44	48	48
	6年生	(人) 62	44	55	42	48
中学校	合計	(人) 173	175	152	155	139
	1年生	(人) 51	64	43	55	42
	2年生	(人) 61	51	58	42	54
	3年生	(人) 61	60	51	58	43

資料：学校基本調査

【出生から小学校入学までに変動する人数の状況】

(人)	H25.01.01 0歳児		H26.01.01 0歳児		H27.01.01 0歳児		H28.01.01 0歳児		H29.01.01 0歳児	
	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
平成25年1月1日	0歳	62								
平成26年1月1日	1歳	62	0歳	35						
平成27年1月1日	2歳	55	1歳	40	0歳	52				
平成28年1月1日	3歳	53	2歳	37	1歳	53	0歳	39		
平成29年1月1日	4歳	52	3歳	38	2歳	52	1歳	40	0歳	26
平成30年1月1日	5歳	54	4歳	38	3歳	52	2歳	43	1歳	27
平成31年1月1日	6歳	55	5歳	38	4歳	54	3歳	45	2歳	28
令和2年1月1日	7歳	55	6歳	39	5歳	52	4歳	47	3歳	29
令和3年1月1日	8歳	54	7歳	40	6歳	52	5歳	45	4歳	29
令和4年1月1日	9歳	54	8歳	40	7歳	50	6歳	44	5歳	28
令和5年1月1日	10歳	54	9歳	40	8歳	49	7歳	44	6歳	27
令和6年1月1日	11歳	53	10歳	40	9歳	48	8歳	45	7歳	27
出生から7歳までに 変動する人数		-7		5		-2		5		1

資料：町資料

## (15) 学童保育

町内には、放課後児童クラブが1か所あり、在籍者数は減少傾向で推移しています。また、小学校統合により、令和5年度からは河津小学校児童のみの利用となっています。

【町内放課後児童クラブ在籍者の状況】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
在籍者数	(人)	59	68	63	45	42
1年生	(人)	24	19	18	8	11
2年生	(人)	11	28	14	17	7
3年生	(人)	14	8	19	10	14
4年生	(人)	7	9	6	8	4
5年生	(人)	1	4	3	1	6
6年生	(人)	2	0	3	1	0
河津小学校 (旧南小学校)	(人)	39	44	41	45	42
西小学校	(人)	12	13	12		
東小学校	(人)	8	11	10		

資料：町資料

## (16) 不登校やいじめ

小学校ではいじめの認知件数が増加傾向となっています。また、令和5年度現在小学校では不登校の児童が11人、中学校では不登校の生徒が5人となっています。

【不登校やいじめの状況】

			令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
小学校	不登校	(人)	2	2	3	2	11
	スクールカウンセラー	(人)	1	1	1	1	1
	いじめ	(件)	42	34	47	93	106
中学校	不登校	(人)	4	4	7	10	5
	スクールカウンセラー	(人)	1	1	1	1	1
	いじめ	(件)	5	12	10	11	3

資料：児童生徒の問題行動等調査

## (17) 家庭児童相談

家庭児童相談件数は、17件前後で推移しています。令和5年度では養護相談に関する相談が多くなっています。

【家庭児童相談件数の状況】

			令和3年度	令和4年度	令和5年度
養護相談	児童虐待相談	(件)	2	0	3
	その他の相談	(件)	0	5	6
保健相談	保健相談	(件)	0	0	0
障害相談	肢体不自由児相談	(件)	0	0	0
	視聴覚障害相談	(件)	0	0	0
	言語発達障害等相談	(件)	2	4	2
	重症心身障害相談	(件)	0	0	0
	知的障害相談	(件)	0	1	0
	発達障害相談	(件)	4	3	3
非行相談	＜犯行為等相談	(件)	0	0	0
	触法行動相談	(件)	0	0	0
育成相談	性格行動相談	(件)	0	0	0
	不登校相談	(件)	1	0	0
	適正相談	(件)	0	0	0
	育児・しつけ相談	(件)	5	2	4
その他		(件)	3	3	0
合計		(件)	17	15	18

資料：町資料

## (18) 障害児通所支援サービスの状況

障害児通所支援サービスの利用状況は、下表のとおりです。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童発達支援	(人)	0	1	4
放課後等デイサービス	(人)	1	3	2
保育所等訪問支援	(人)	3	3	3

資料：町資料

(19) 乳幼児健診・健康相談、健康教育事業

乳幼児健診・健康相談、健康教育事業の実施状況は、下表のとおりです。

【乳幼児健診の実施状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
4か月児健診 (受診児・受診率)	(人)	37	26	24	22	11
	(%)	100.0	92.9	92.3	100.0	100.0
10か月児健診 (受診児・受診率)	(人)	26	32	19	29	15
	(%)	104.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1歳6か月児健診 (受診児・受診率)	(人)	22	28	30	23	21
	(%)	100.0	96.6	103.4	100.0	100.0
3歳児健診 (受診児・受診率)	(人)	22	32	31	25	23
	(%)	88.0	107.0	100.0	104.2	100.0

資料：町資料

【健康相談の実施状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
2歳児健康相談 (実施回数・相談者数)	(回)	5	5	6	6	6
	(人)	27	21	25	27	19

資料：町資料

【健康教育事業の実施状況】

事業名	対象者		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
健診事後教室 ころぼっくる	言葉の出がゆっくり、コミュニケーションが取りにくい、体の動かし方がぎこちない等、心身の発達に偏りがあったり、成長がゆっくりなお子さん（幼稚園就園前）とその保護者	(回)	11	7	8	12	12
		(人)	26	14	23	58	15
健診事後教室 かっぱっぱ	言葉の出がゆっくり、コミュニケーションが取りにくい、体の動かし方がぎこちない等、心身の発達に偏りがあったり、成長がゆっくりなお子さん（小学校就学前）とその保護者	(回)	11	7	8	12	12
		(人)	68	34	24	47	65
ママパパ学級	河津町に住所のある妊婦とその家族	(回)	3	2	3	3	2
		(人)	25	9	19	12	7
産後ケア事業	体調不良や育児不安のある、産後1年までの産婦及び乳児	(人)	0	0	0	0	0
スキンシップ セミナー	月齢2か月からハイハイ前の時期の子とその保護者	(回)	8	4	8	8	8
		(人)	50	30	40	48	21

資料：町資料 ※人数は延人数

## (20) 保健指導・相談、訪問指導

保健指導・相談、訪問指導の実施状況は下表のとおりです。

【保健指導・相談の実施状況】

事業名	対象者		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
育児相談	子育て中の保護者	(回)	12	12	12	12	12
		(人)	127	111	86	108	27
のびのび 発達検査	子どもの発達等に 心配のある保護者	(回)	6	5	4	5	7
		(人)	13	7	6	11	14

資料：町資料 ※人数は延人数

【訪問指導の実施状況】

事業名	対象者		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
妊婦訪問	フォローが 必要な妊婦	(人)	3	4	0	0	0
産婦訪問	町内に 住所のある産婦	(人)	30	37	25	24	18
新生児訪問	町内に 住所のある新生児	(人)	28	26	22	22	16
未熟児訪問	町内に 住所のある未熟児	(人)	3	6	2	2	4

資料：町資料 ※人数は延人数

## (21) 手当・助成

子どもに関する手当・助成の支給状況は下表のとおりです。

【子どもに関する手当・助成の支給状況】

			令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
児童手当	(件)		7,483	7,022	6,535	5,789	5,235
児童扶養手当	(件)		45	46	42	36	34
特別児童扶養手当	(件)		7	5	5	7	5
子ども医療費助成	(件)		11,773	8,526	8,468	8,176	9,853
ひとり親家庭 医療費助成	件数	(件)	344	343	337	268	253
	受給者数	(人)	36	39	27	29	27
母子寡婦福祉資金	(件)		1	0	0	0	0
不妊治療費助成	(件)		8	10	7	4	7
不育症治療費助成	(件)		0	0	0	0	0
ひとり親家庭就学支援事業	(人)		4	2	3	2	1
就学援助（準要保護）	(人)		1	2	2	4	7

資料：町資料

## (22) ファミリーサポートセンター・かわづっこひろば

ファミリーサポートセンターの会員数は増加傾向となっています。また、令和4年度に開所した、かわづっこひろばは利用件数が増加傾向となっています。

【ファミリーサポートセンターの利用状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
延利用件数	(件)	28	29	256	34	40	
会員数	依頼	(人)	12	18	22	25	27
	支援	(人)	11	11	11	11	11
	両方	(人)	9	9	8	8	9
	合計	(人)	32	38	41	44	47

資料：町資料

【子育てサロンの利用状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
延利用件数	(件)	3,469	1,902	1,708	937

資料：町資料

【かわづっこひろばの利用状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
延利用件数	(件)				3,768	8,929

資料：町資料

## (23) 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、28人で推移しています。

【民生委員・児童委員の状況】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
民生委員・児童委員	(人)	28	28	28	28	28
うち 男性委員	(人)	9	9	15	15	15
うち 女性委員	(人)	19	19	13	13	13

資料：町資料

## (24) 虐待通報

令和5年度現在、虐待通報件数は1件、虐待通報家庭数は1家庭となっています。

【虐待通報の状況】

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
虐待通報件数	(件)	0	1	1	0	1
虐待通報家庭数	(家庭)	0	1	1	0	1

資料：町資料

## (25) 子どもが参加する地域活動の状況

子ども会については、令和5年度で事業が廃止となりました。スポーツ少年団は1団体が活動していますが、加入者は減少傾向となっています。

【子どもが参加する地域活動の状況】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
子ども会	(団体)	19	19	19	18	
	(人)	292	266	254	228	
スポーツ少年団	(団体)	1	1	1	1	1
	(人)	23	22	22	20	13

※スポーツ少年団の団体数は、町に登録されている団体の数です。

資料：町資料

## (26) 公園

町内には笹原公園と浜公園の2つの公園があります。

【町内公園の状況】

公園名称	遊具	水道	駐車場	トイレ
笹原公園	無	有	有	有
浜公園	有	有	有	有

資料：町資料

## 2 子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果からみる現状と課題

### (1) 調査目的

本調査は、町内に居住する未就学児童及び小学生の保護者を対象として、アンケート調査を実施し、「河津町こども計画」を策定するに当たり、住民の方の教育・保育・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するための基礎資料とします。

### (2) 調査対象

未就学児（0～5歳 117人）

小学生（1～6年生 175人）

### (3) 調査時期

令和6年2月

### (4) 調査方法

郵送による配布・回収、または学校や園を通じた回収。

### (5) 回収結果

#### 未就学児

配布数	回収数	回収率
117	96	82.1%

#### 小学生

配布数	回収数	回収率
175	143	81.7%

### (6) 数値等の基本的な取扱いについて

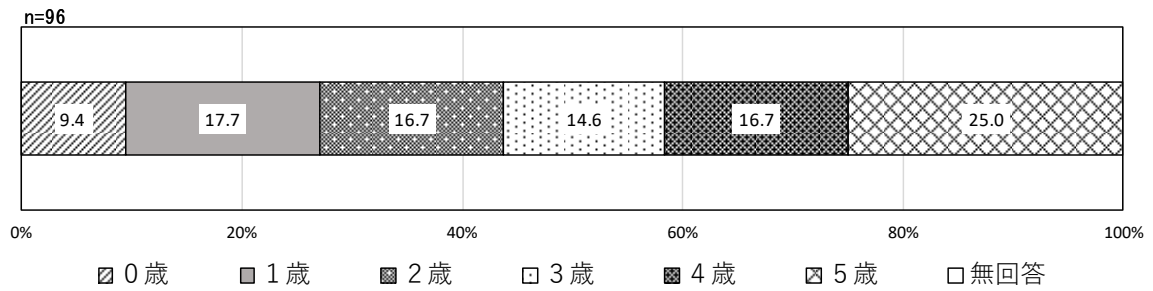
- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化する場合があります。

## (7) 調査結果

### ①お子さんの年齢

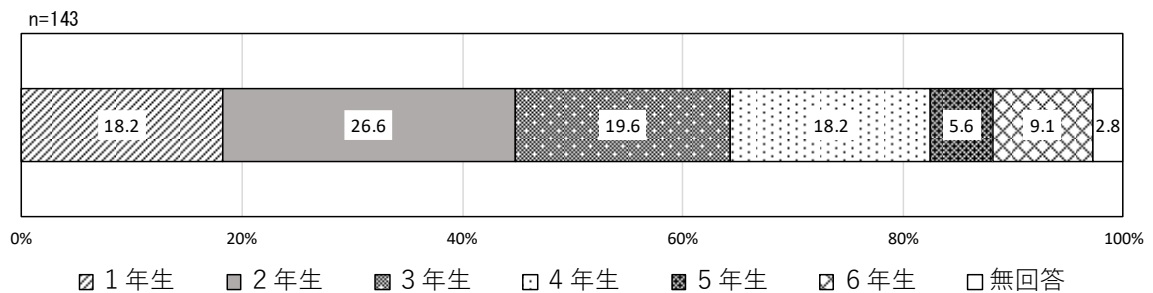
#### 【未就学児】

「5歳」の割合が25.0%と最も高く、次いで「1歳」が17.7%、「2歳」「4歳」が16.7%となっています。



#### 【小学生】

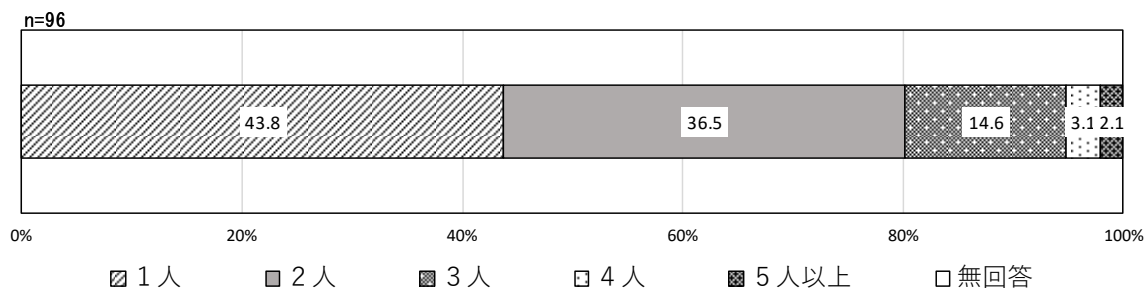
「2年生」の割合が26.6%と最も高く、次いで「3年生」が19.6%、「1年生」「4年生」が18.2%となっています。



## ②お子さんの人数

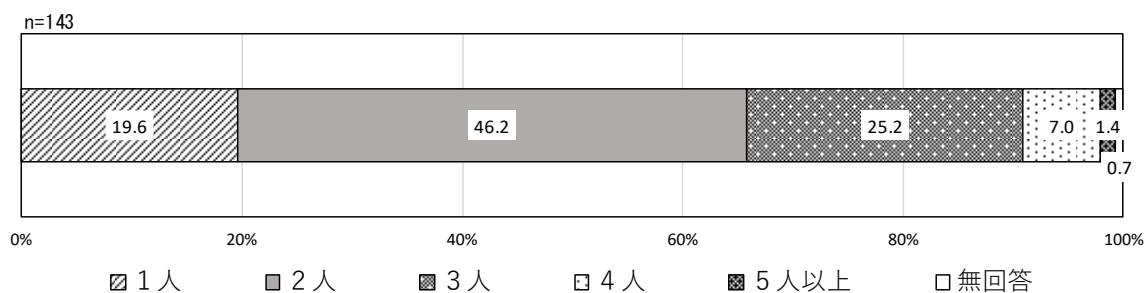
### 【未就学児】

「1人」の割合が43.8%と最も高く、次いで「2人」が36.5%、「3人」が14.6%となっています。



### 【小学生】

「2人」の割合が46.2%と最も高く、次いで「3人」が25.2%、「1人」が19.6%となっています。



③町の事業の認知度等【未就学児】

【A 知っている】

「はい」の割合が高かった項目は、「③育児相談」が89.6%と最も高く、次いで「⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）」が87.5%、「①ママパパ学級」が82.3%となっています。

(%)

区分 n=96	はい	いいえ
①ママパパ学級	82.3	9.4
②産後ケア事業	67.7	26.0
③育児相談	89.6	3.1
④スキンシップセミナー	51.0	42.7
⑤ファミリー・サポート・センター	71.9	25.0
⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）	87.5	3.1
⑦家庭教育に関する学級・講座	45.8	51.0
⑧その他	0.0	4.2

【B 利用している（または利用したことがある）】

「はい」の割合が高かった項目は、「⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）」が71.9%と最も高く、次いで「③育児相談」が55.2%、「①ママパパ学級」が46.9%となっています。

(%)

区分 n=96	はい	いいえ
①ママパパ学級	46.9	41.7
②産後ケア事業	8.3	75.0
③育児相談	55.2	30.2
④スキンシップセミナー	34.4	50.0
⑤ファミリー・サポート・センター	11.5	69.8
⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）	71.9	18.8
⑦家庭教育に関する学級・講座	18.8	61.5
⑧その他	0.0	5.2

【C 今後利用したい（今後も利用したい）】

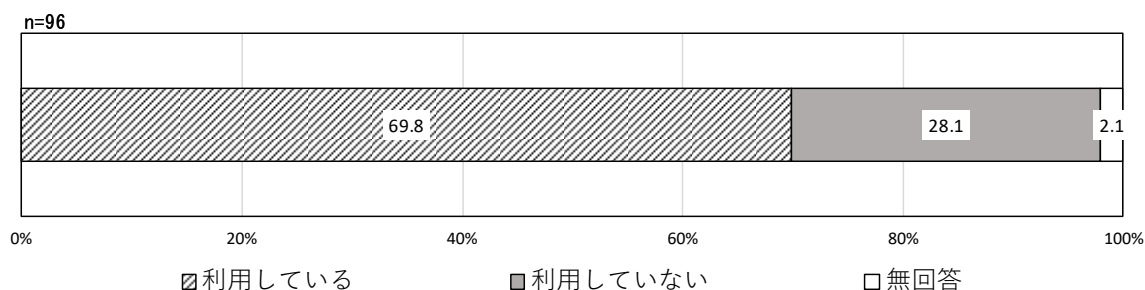
「はい」の割合が高かった項目は、「⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）」が68.8%と最も高く、次いで「③育児相談」が51.0%、「⑦家庭教育に関する学級・講座」が43.8%となっています。

区分 n=96	（%）	
	はい	いいえ
①ママパパ学級	38.5	38.5
②産後ケア事業	35.4	43.8
③育児相談	51.0	29.2
④スキンシップセミナー	37.5	40.6
⑤ファミリー・サポート・センター	33.3	47.9
⑥子育てサークルの活動（くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等）	68.8	17.7
⑦家庭教育に関する学級・講座	43.8	35.4
⑧その他	0.0	5.2

④河津町地域子育て支援センター（かわづっこひろば）の利用状況

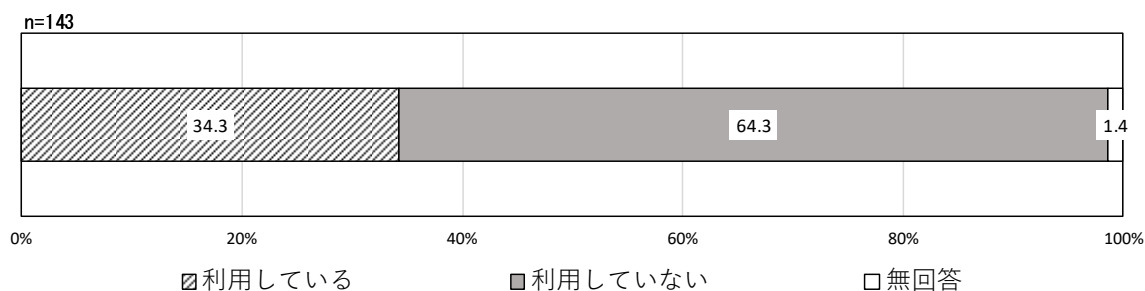
【未就学児】

「利用している」の割合が69.8%と最も高く、次いで「利用していない」が28.1%となっています。また、「利用している」方の平均利用日数（1か月）は4日となっています。



【小学生】

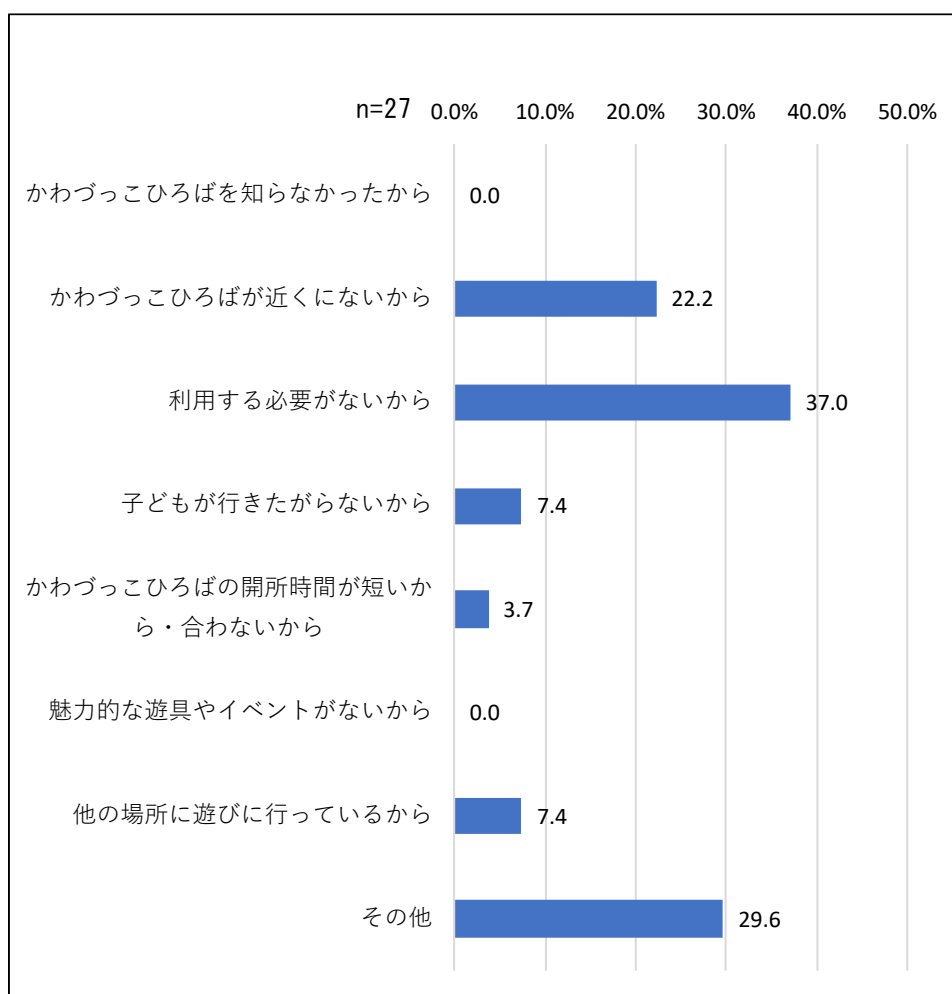
「利用していない」の割合が64.3%と最も高く、次いで「利用している」が34.3%となっています。また、「利用している」方の平均利用日数（1か月）は2日となっています。



⑤かわづっこひろばを利用していない理由

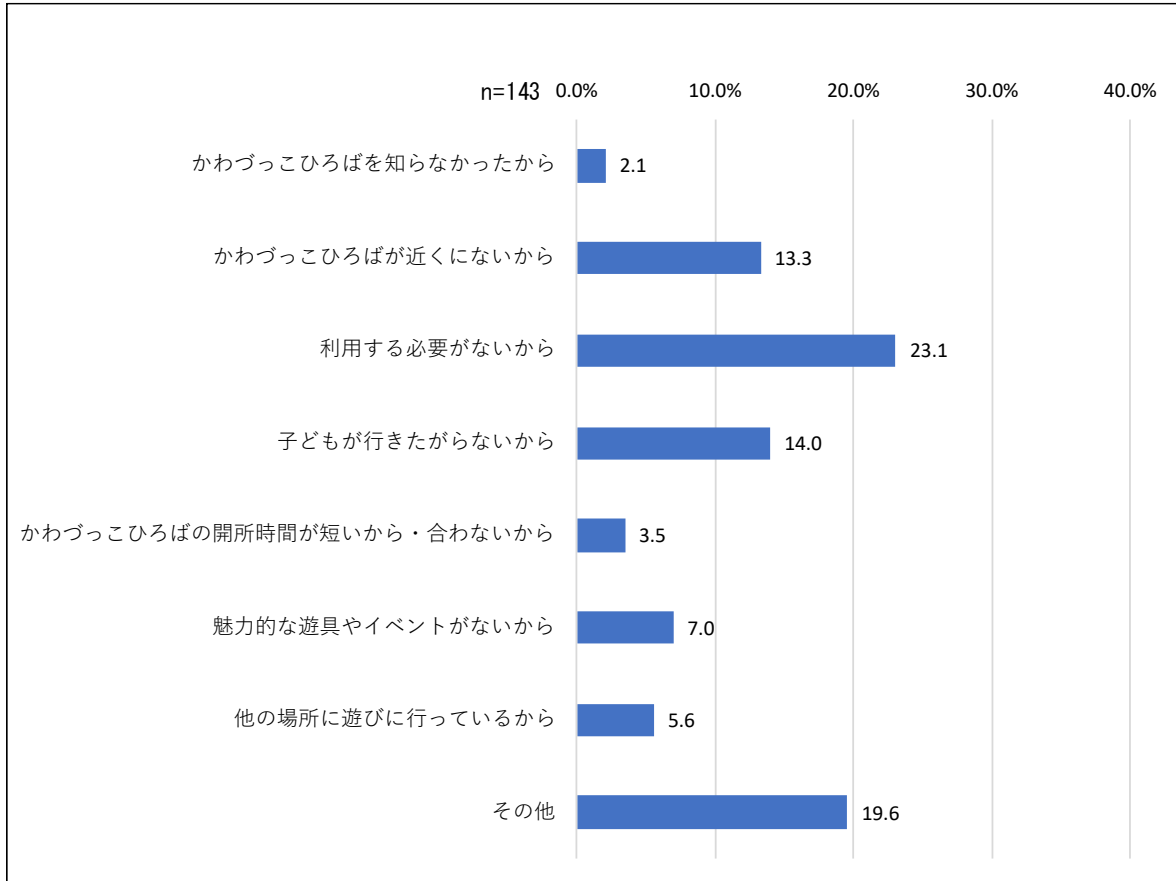
【未就学児】

「利用する必要があるから」の割合が37.0%と最も高く、次いで「その他（休みの時くらい子どもといたい、利用年齢とタイミングが合わない、他の保護者の方との交流が好きではない 等）」が29.6%、「かわづっこひろばが近くにないから」が22.2%となっています。



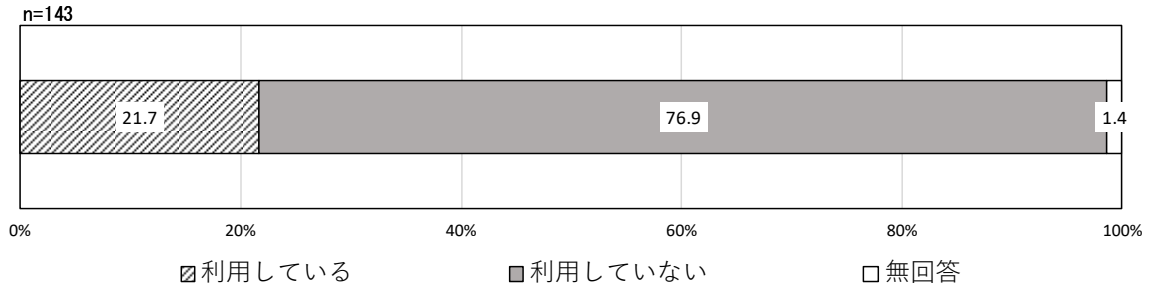
【小学生】

「利用する必要がないから」の割合が23.1%と最も高く、次いで「その他（宿題ルームのみ利用、親どうしの関係がストレスになる、習いごとがある 等）」が19.6%、「子どもが行きたがらないから」が14.0%となっています。



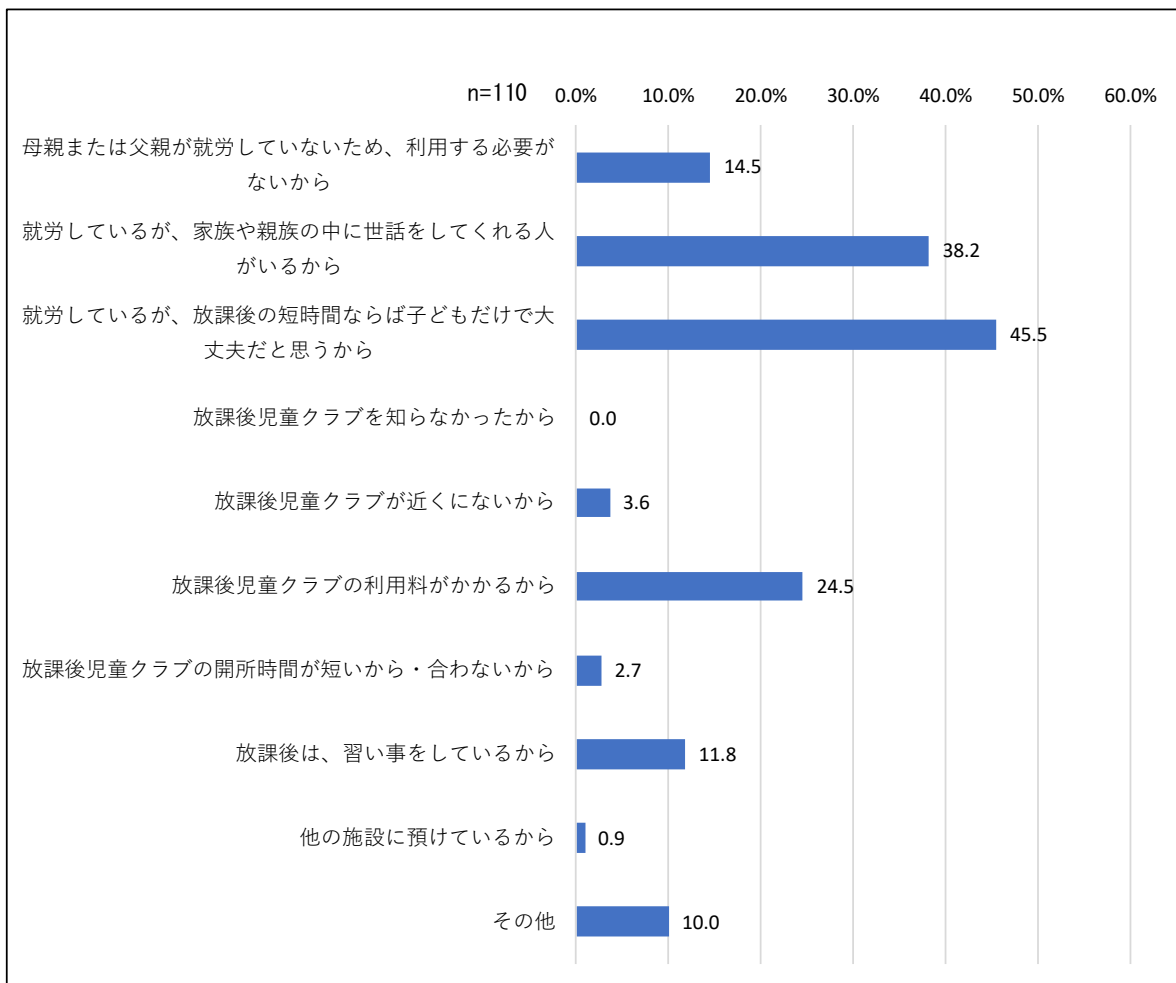
⑥放課後児童クラブの利用状況【小学生】

「利用していない」の割合が76.9%と最も高く、次いで「利用している」が21.7%となっています。



⑦放課後児童クラブを利用していない理由【小学生】

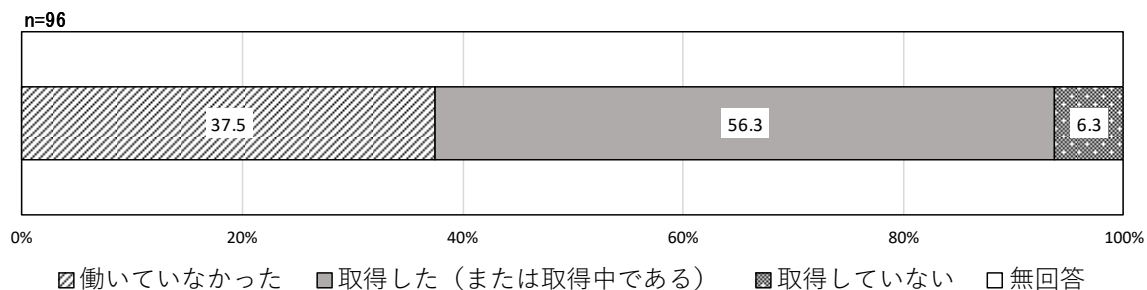
「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」の割合が45.5%と最も高く、次いで「就労しているが、家族や親族の中に世話をしてくれる人がいるから」が38.2%、「放課後児童クラブの利用料がかかるから」が24.5%となっています。



### ⑧育児休業の取得【未就学児】

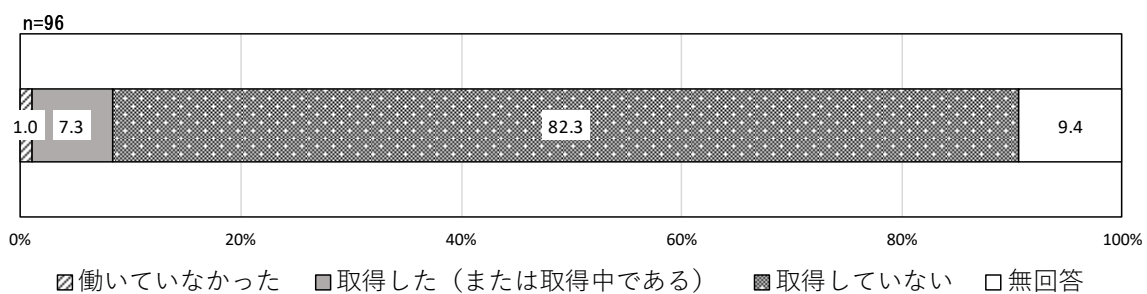
(母親)

「取得した(または取得中である)」の割合が56.3%と最も高く、次いで「働いていなかった」が37.5%、「取得していない」が6.3%となっています。



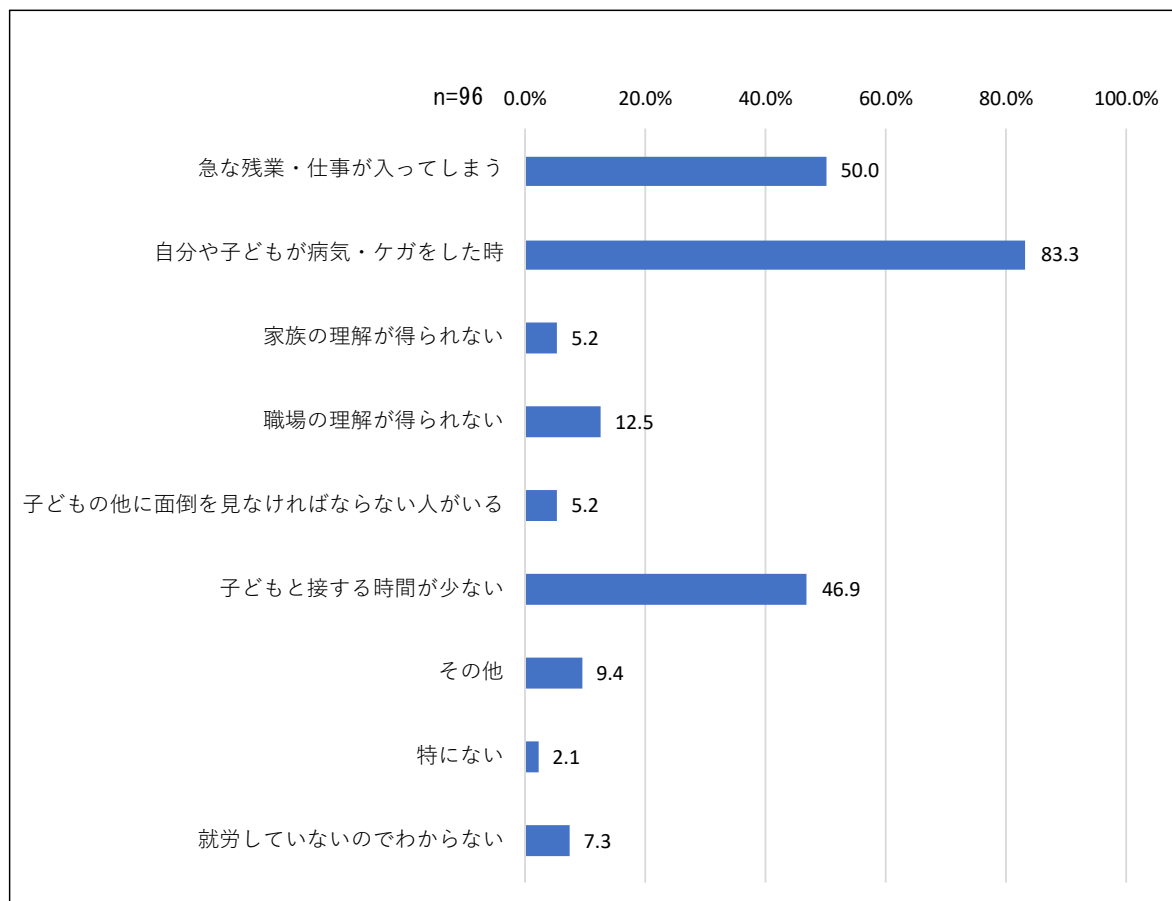
(父親)

「取得していない」の割合が82.3%と最も高く、次いで「取得した(または取得中である)」が7.3%、「働いていなかった」が1.0%となっています。



◎仕事と子育てを両立する上で大変だと感じる事【未就学児】

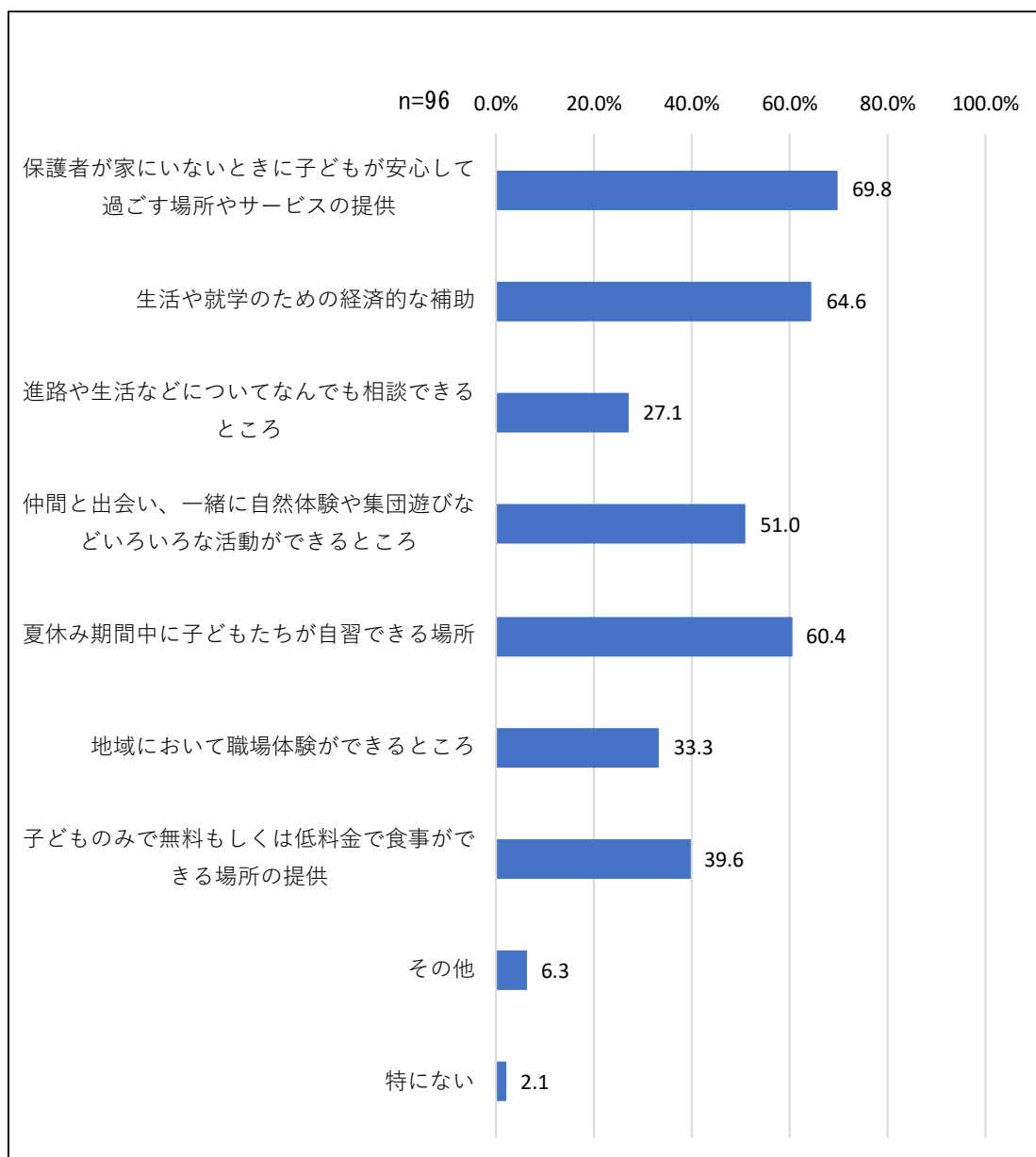
「自分や子どもが病気・ケガをした時」の割合が83.3%と最も高く、次いで「急な残業・仕事が入ってしまう」が50.0%、「子どもと接する時間が少ない」が46.9%となっています。



⑩現在または将来的に利用したい支援

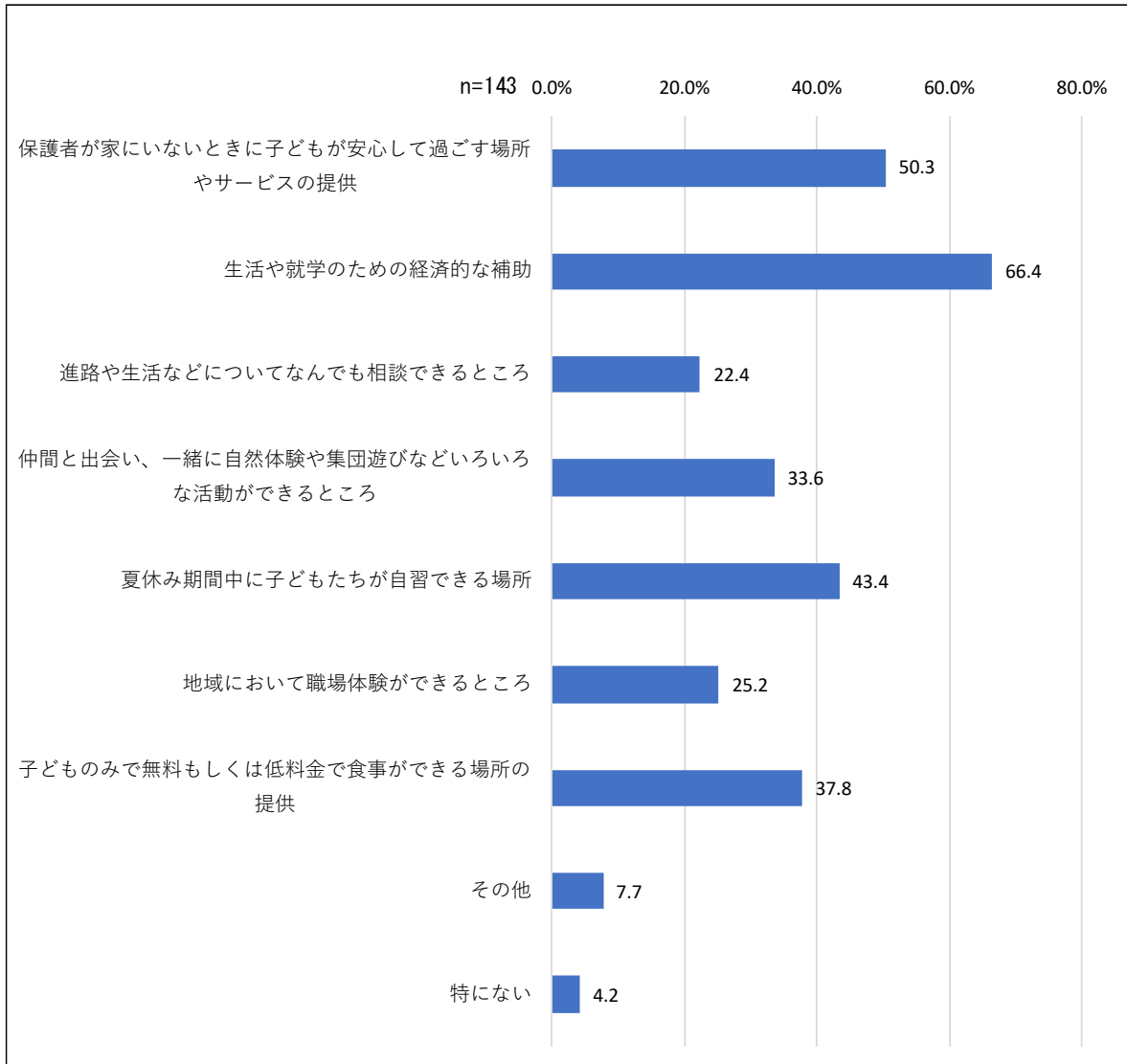
【未就学児】

「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供」の割合が69.8%と最も高く、次いで「生活や就学のための経済的な補助」が64.6%、「夏休み期間中に子どもたちが自習できる場所」が60.4%となっています。



【小学生】

「生活や就学のための経済的な補助」の割合が66.4%と最も高く、次いで「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供」が50.3%、「夏休み期間中に子どもたちが自習できる場所」が43.4%となっています。



⑪河津町の子育て環境や支援の満足度

【未就学児】

「4」と「5」をあわせた『満足度が高い』でみると、「③乳幼児健診の体制に満足していますか」が56.3%と最も高く、次いで「⑧公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いますか」が50.0%、「⑥青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか」が46.9%となっています。

「1」と「2」をあわせた『満足度が低い』でみると、「⑪屋外の遊び場が充実していると思いますか」が63.6%と最も高く、次いで「⑤子どもへの教育環境が充実していると思いますか」「⑦障がいなど配慮の必要な子どもを安心して育てられると感じますか」が35.4%となっています。

区分 n=96	満足度が低い					満足度が高い				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
①河津町は子育てしやすいまちだと思いますか	6.3	10.4	40.6	28.1	13.5					
②子どもがいても安心して働けると感じていますか	5.2	21.9	37.5	21.9	12.5					
③乳幼児健診の体制に満足していますか	5.2	7.3	29.2	37.5	18.8					
④小児医療体制に満足していますか	11.5	12.5	31.3	29.2	14.6					
⑤子どもへの教育環境が充実していると思いますか	10.4	25.0	37.5	21.9	4.2					
⑥青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか	1.0	9.4	41.7	34.4	12.5					
⑦障がいなど配慮の必要な子どもを安心して育てられると感じますか	10.4	25.0	44.8	15.6	2.1					
⑧公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いますか	1.0	7.3	39.6	41.7	8.3					
⑨地域ぐるみで子どもを見守る体制ができていると思いますか	7.3	13.5	46.9	28.1	3.1					
⑩子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	5.2	16.7	39.6	28.1	8.3					
⑪屋外の遊び場が充実していると思いますか	32.3	31.3	26.0	6.3	3.1					
⑫犯罪被害にあう事の少ないまちだと思いますか	2.1	4.2	44.8	33.3	13.5					
⑬子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報に満足していますか	4.2	12.5	50.0	28.1	4.2					

【小学生】

「4」と「5」をあわせた『満足度が高い』でみると、「③乳幼児健診の体制に満足していますか」が53.2%と最も高く、次いで「④小児医療体制に満足していますか」が52.5%、「⑥青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか」が50.4%となっています。

「1」と「2」をあわせた『満足度が低い』でみると、「⑪屋外の遊び場が充実していると思いますか」が68.6%と最も高く、次いで「⑬子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報に満足していますか」が32.9%、「⑤子どもへの教育環境が充実していると思いますか」が32.2%となっています。

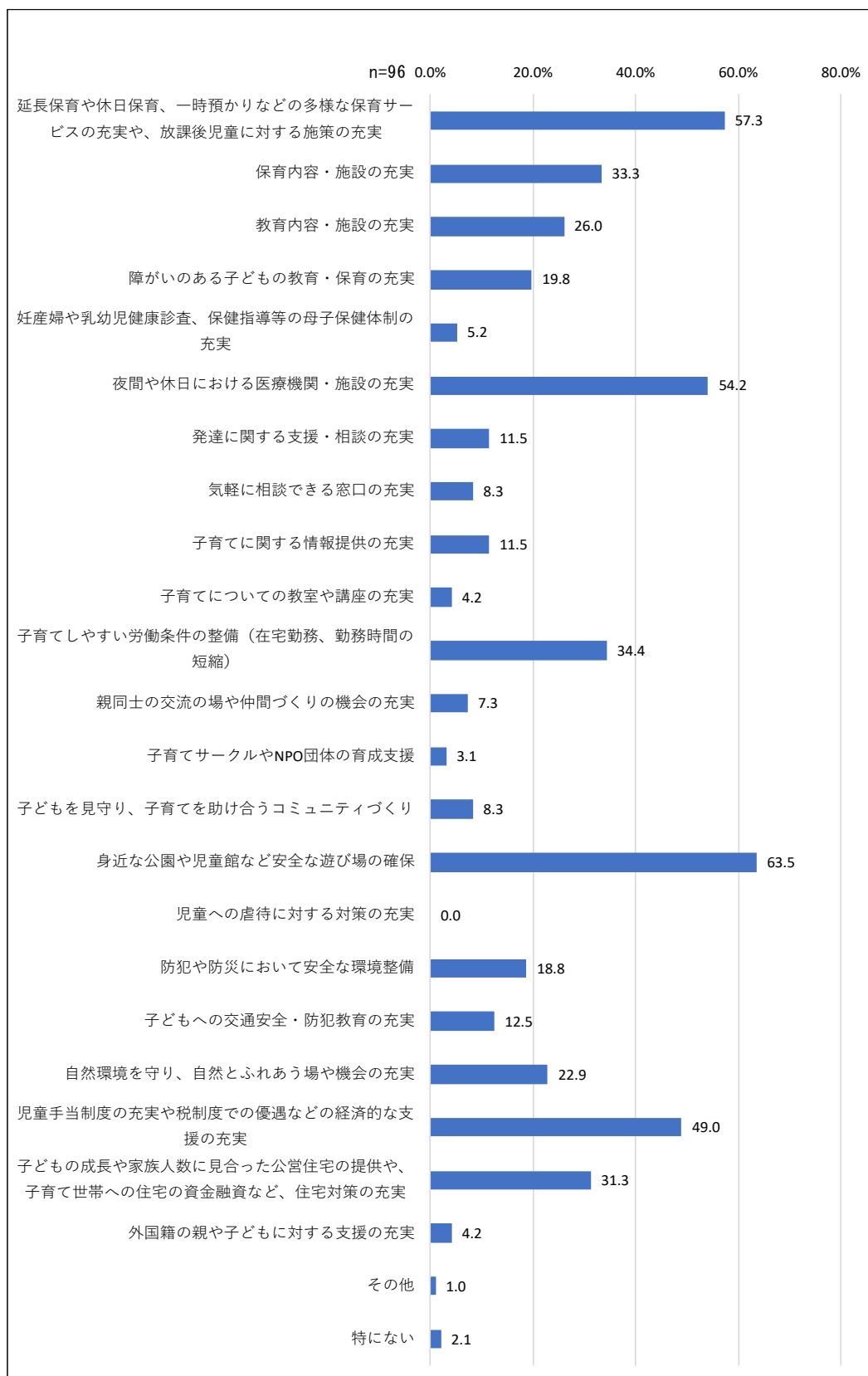
(%)

区分 n=143	満足度が低い			満足度が高い	
	1	2	3	4	5
①河津町は子育てしやすいまちだと思いますか	4.9	16.1	40.6	26.6	10.5
②子どもがいても安心して働けると感じていますか	6.3	23.1	37.8	21.0	10.5
③乳幼児健診の体制に満足していますか	2.1	9.8	33.6	31.5	21.7
④小児医療体制に満足していますか	9.1	13.3	23.1	30.1	22.4
⑤子どもへの教育環境が充実していると思いますか	8.4	23.8	44.1	13.3	9.1
⑥青少年が健全に過ごせるまちだと感じますか	1.4	4.9	42.0	32.2	18.2
⑦障がいなど配慮の必要な子どもを安心して育てられると感じますか	7.0	14.0	52.4	15.4	9.1
⑧公共施設が子どもにとって安心できる場だと思いますか	4.2	7.7	47.6	25.9	12.6
⑨地域ぐるみで子どもを見守る体制ができていると思いますか	4.2	14.7	48.3	20.3	11.2
⑩子育てが地域の人たちに支えられていると感じますか	5.6	16.1	40.6	23.1	13.3
⑪屋外の遊び場が充実していると思いますか	31.5	37.1	21.0	3.5	5.6
⑫犯罪被害にあう事の少ないまちだと思いますか	2.1	6.3	44.8	30.8	14.7
⑬子育て（教育・保育を含む）に関する支援情報に満足していますか	8.4	24.5	50.3	10.5	4.9

⑫河津町の子育て環境をさらによくしていくために期待すること

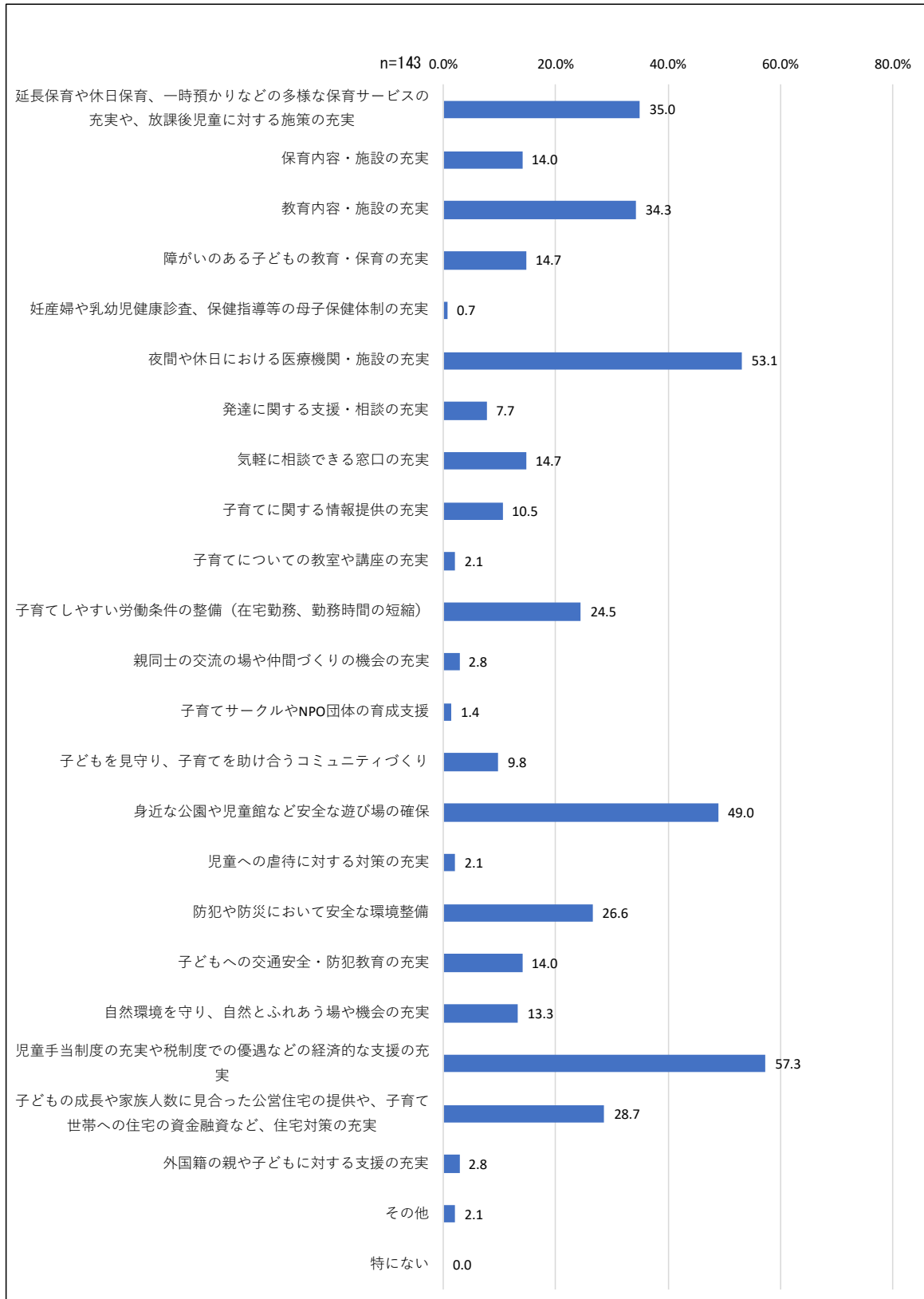
【未就学児】

「身近な公園や児童館など安全な遊び場の確保」の割合が63.5%と最も高く、次いで「延長保育や休日保育、一時預かりなどの多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実」が57.3%、「夜間や休日における医療機関・施設の充実」が54.2%となっています。



【小学生】

「児童手当制度の充実や税制度での優遇などの経済的な支援の充実」の割合が57.3%と最も高く、次いで「夜間や休日における医療機関・施設の充実」が53.1%、「身近な公園や児童館など安全な遊び場の確保」が49.0%となっています。



⑬教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してのご意見

教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関して、下記のようなご意見がありました。

○近隣の市町村に比べて遊ぶところが少ない。特に屋外の公園（道具が少ない）で安全なところがない。

○子どもが減少し小学校も1校になったことから、今後保育園・幼稚園も合併すべき。

○子育てにかかる資金援助をもう少し充実させてほしい。

○自然豊かな環境なので、自然を活かした遊びや今後も自然を残していく、維持していくことを考えられるようになると、地元へ愛着がわいたりすると思う。

○リーダー気質やサポートに向いている気質等を見て、チームで成功できる体験や、リーダーとしての心構えを専門家が教える機会があると社会に出た時に役立つと思う。

○核家族でも安心して子育てすることができる環境づくりをお願いしたい。

○子どもが夜間に体調を崩した時、対応してくれる病院が無い。子どもの医療について本当に充実させてほしいと思う。

○小学生、中学生が利用できるバスや習い事など親の車なしでもバスで子どもが移動できれば助かる（料金が発生してもよい）。

○発達支援が必要な家庭や本人が適切なサービスを受けられたり、選択できたりする環境の整備や専門知識のある人材の常駐（臨床心理士等）が必要。

○親の通学前の出勤や遅い時間の帰宅でひとりでの食事をとらなければならないお子さんがいるとしたら、町にも子ども食堂があると良いと思う。

○子どもが小さい頃は就労と家庭の両立が難しい。仕事も定時で終わることは難しく、どちらを優先するべきか悩むこともある。様々な制度ができてはいるものの、制約が多く利用しにくい。

○町に産婦人科がないため、里帰り出産や三島、沼津周辺の病院へ通う人が多いと思う。母乳外来がないので相談できずに困った。

○障がい児を育てていく中で、一番不安に思うことが親なき後の生活。自立に向けて支援して頂ける環境や情報をもっとオープンにしてほしい。

○悩みを抱えている子どもが集まったり、学校に行けなくなってしまった子どもが学習できる環境があったりすれば良いと思う。

○大きな地震や津波の発生など、子どもだけの時にその状況になったら考えると、避難場所となる高さのある建物、避難場所の少なさにはとても不安になる。いざとなった時に逃げられる場所の確保が必要だと思う。

## ⑭子ども・子育て環境を取り巻く今後の課題

### 町の事業の認知度

「育児相談」「子育てサークルの活動(くれよんくらぶや図書館での読み聞かせ等)」「ママパパ学級」等の事業は認知度が高いが、「家庭教育に関する学級・講座」「スキップセミナー」等の認知度は低くなっているため、さらなる周知が必要である。

### 河津町地域子育て支援センター(かわづっこひろば)の利用

かわづっこひろばを利用していない理由に、「利用する必要がないから」が挙げられており、利用したくなるようなイベントの実施や周知が必要である。

### 放課後児童クラブの利用

放課後児童クラブを利用していない理由について、「就労しているが、放課後の短時間ならば子どもだけで大丈夫だと思うから」の割合が最も高くなっている。引き続き、必要な家庭が利用することができるよう、体制を整備していく必要がある。

### 子育てと仕事の両立支援について

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについて、「自分や子どもが病気・ケガをした時」の割合が83.3%と最も高くなっているが、病児・病後児保育施設等を利用したいかの問いには59%が「利用したくない」と答えている。就労と家庭生活の両立を支援するために、さらなる意識醸成、啓発が必要である。

### 河津町の子育て環境や支援の満足度

子育て環境や支援の満足度については、「屋外の遊び場が充実していると思いますか」の満足度が低くなっている。自由意見でも公園の数の少なさや安全性についての声が出ていることから、さらなる環境の整備が必要である。

### 河津町の子育て環境をさらによくしていくために期待すること

子育て環境をさらによくしていくために期待することについては、未就学児では「身近な公園や児童館など安全な遊び場の確保」、小学生では「児童手当制度の充実や税制度での優遇などの経済的な支援の充実」の割合が最も高くなっている。子どもの成長にあわせた適切な支援を図ることが重要である。

### 子育て環境や支援に関しての住民の声

子育て環境や支援に関しての意見として、屋外の公園等、子どもが遊ぶところが少ないことの声があった。

また、住んでいる地区によっては、通学や習い事への送迎等、バスがないと不便であるとの声があった。

さらには、子どもが夜間に体調を崩した時に対応してくれる医療機関の充実や産婦人科の整備の要望の声があった。

これら子育て環境の整備について、町の状況を精査して、対応を検討する必要がある。

### 3 こどもの居場所に関するアンケート調査結果からみる現状と課題

#### (1) 調査目的

子どもが必要とする居場所や、子どもの視点に立った居場所がどのような居場所かを把握するとともに、居場所を利用する子どもから、居場所のニーズを把握することを目的として実施しました。

#### (2) 調査対象

小学生（4～5年生 97人）

#### (3) 調査時期

令和6年2月

#### (4) 調査方法

学校を通じての配布・回収。

#### (5) 回収結果

配布数	回収数	回収率
97	96	99.0%

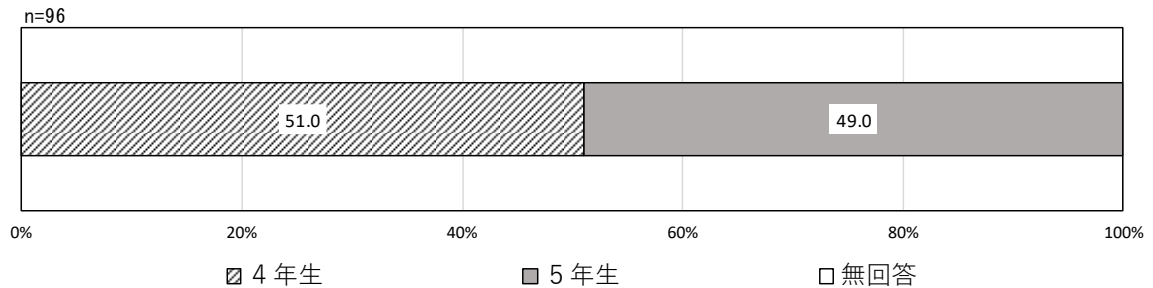
#### (6) 数値等の基本的な取扱いについて

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化する場合があります。

## (7) 調査結果

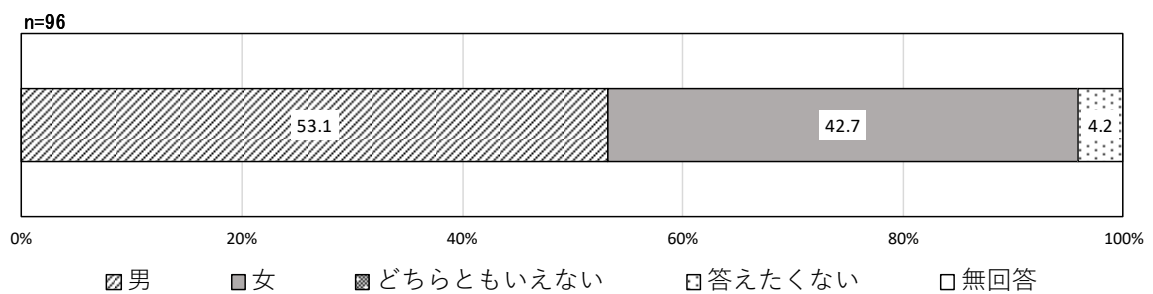
### ①回答者の学年

「4年生」の割合が51.0%と最も高く、次いで「5年生」が49.0%となっています。



### ②回答者の性別

「男」の割合が53.1%と最も高く、次いで「女」が42.7%、「答えたくない」が4.2%となっています。



③家や学校（授業やクラブ活動）以外に居場所がほしいか

「居場所がほしくない」の割合が51.0%と最も高く、次いで「居場所がほしい」が49.0%となっています。

性別でみると、男では「居場所がほしくない」が62.7%と最も高く、女では「居場所がほしい」が65.9%と最も高くなっています。

区分	有効回答数（件）	居場所がほしい	居場所がほしくない
全体	96	49.0%	51.0%
男	51	37.3%	62.7%
女	41	65.9%	34.1%

④家や学校（授業やクラブ活動）以外に居場所があるか

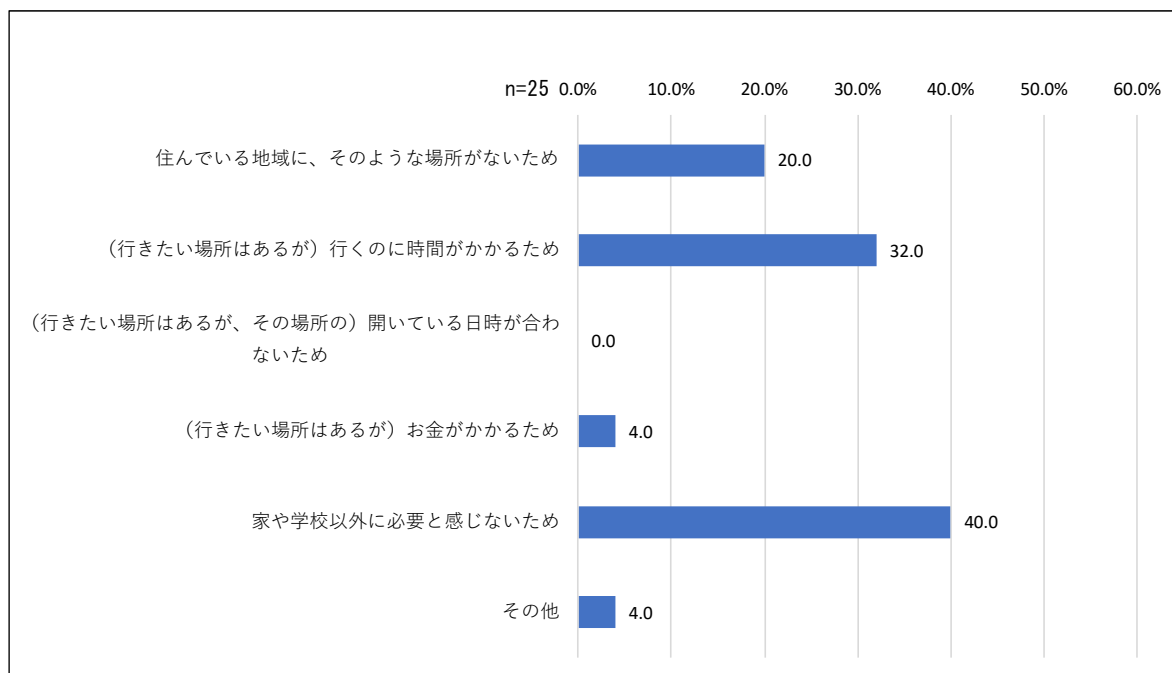
「居場所がある」の割合が60.4%と最も高く、次いで「居場所がない」が26.0%となっています。

性別でみると、男女ともに「居場所がある」が最も高く、女では7割を超えています。

区分	有効回答数（件）	居場所がある	居場所がない
全体	96	60.4%	26.0%
男	51	45.1%	39.2%
女	41	75.6%	12.2%

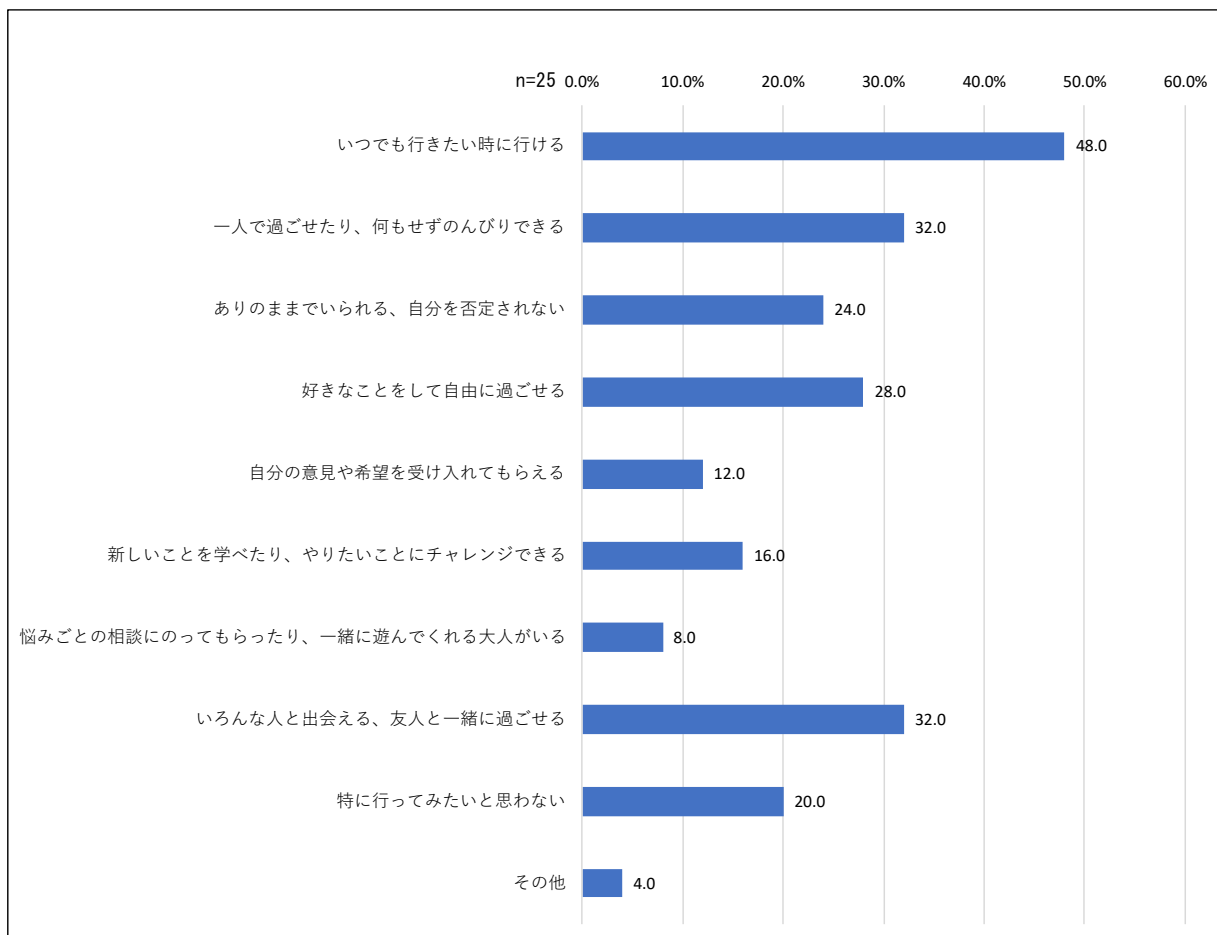
⑤居場所がない理由（居場所がない方のみ）

「家や学校以外に必要と感じないため」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「（行きたい場所はあるが）行くのに時間がかかるため」が 32.0%、「住んでいる地域に、そのような場所がないため」が 20.0%となっています。



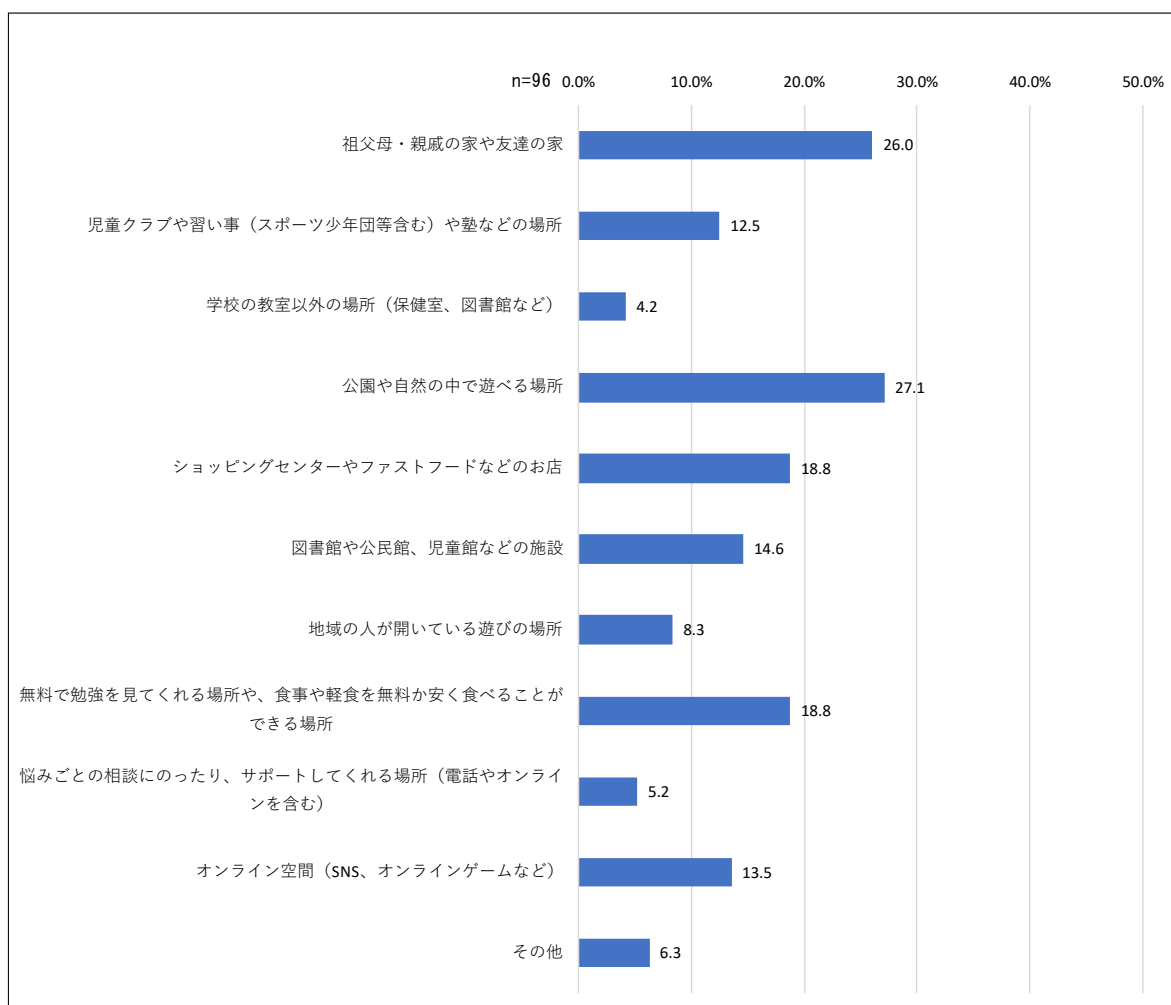
⑥どのような場所であれば行ってみたいか（居場所がない方のみ）

「いつでも行きたい時に行ける」の割合が48.0%と最も高く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」「いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」が32.0%となっています。



### ⑦家や学校以外にどんな居場所がほしいか

「公園や自然の中で遊べる場所」の割合が27.1%と最も高く、次いで「祖父母・親戚の家や友達の家」が26.0%、「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」「無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所」が18.8%となっています。



⑧こどもの居場所についての意見

子どもの性別	意見
女	みんながひとりひとり仲良くいれる場所をつくってほしい。
女	安心できる場所が良い。
男	ペットやゲーム機があって、親が自分を愛してくれる場所。
男	みんなが、老若男女関係なく楽しく過ごせるところ。
答えたくない	インターネットが居場所の子どももいるのに、インターネットを規制するのをやめて下さい。多様性を尊重してほしい。
男	自由にできる場所。
男	子どもだけじゃなくて、大人も一緒に遊べる場所もあったら良い。
女	動物と触れ合うところ。
女	かわづっこひろばでは小さい子が基準で小学生のスペースが狭いから小学生から遊べるような施設を小学校の近くにほしい。狭くてもいいです。小さい子が基準、小さいがいっぱいいて、思う存分体を動かすことができない。
男	河津の海のほうにはコンビニやスーパーがあるが、山のほうにはありません。自動販売機がほしい。
女	わたしは、統合する前にすごくいじめられました。なので、もし、わたしがいじめられたら、自分の居場所に行けるようなことがあると良いです。

## ◎今後の課題

### 居場所がない理由

「居場所がある」の割合が60.4%、「居場所がない」の割合が26.0%となっており、全体としては居場所がない子どもは少ないのが現状である。

居場所がないと答えた子どもにその理由を聞いたところ、「(行きたい場所はあるが)行くのに時間がかかるため」「住んでいる地域に、そのような場所がないため」の声が多く挙がっている。

また、どのような場所であれば行ってみたいと思うか、の問いでは、「いつでも行きたい時に行ける」「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」の割合が比較的高かった。これらのニーズを満たすことができる施設の整備を図るとともに、町のどの地域からもその場所へアクセスすることができるよう交通手段を確保することが必要である。

### 居場所のニーズ

家や学校以外に、どんな居場所がほしいと思うか、の問いでは、「公園や自然の中で遊べる場所」「祖父母・親戚の家や友達の家」「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」「無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所」等の割合が比較的高かった。

町の公園や子どもたちだけでも気軽に入れるような施設の周知が必要である。

### 居場所に関する子どもたちの意見

居場所には、ペットやゲーム機があったり、老若男女関係なく楽しく過ごせる場所が良いという意見があった。また、インターネットが居場所の子どももいるので、インターネットの利用を規制するのをやめてほしいとの意見もあった。

かわづっこひろばでは小さい子が基準であり、小学生も遊べるような施設を小学校の近くにほしいとの意見があり、かわづっこひろばの児童館機能のさらなる周知が必要である。

## 4 第2期子ども・子育て支援事業計画の評価と課題

### (1) 評価について

本評価は、本計画策定の基礎資料とするために、「第2期河津町子ども・子育て支援事業計画」の3つの基本目標に位置づけられている施策の達成度について、評価基準日を令和6年3月31日（令和5年度終了時）として、担当課の職員が自己評価を行ったものです。

#### 【3つの基本目標】

- 基本目標1 地域における子育て支援の充実
- 基本目標2 子育てにやさしい生活環境の整備
- 基本目標3 きめ細かな取組を必要とする子どもと家庭への支援

#### 【評価基準】

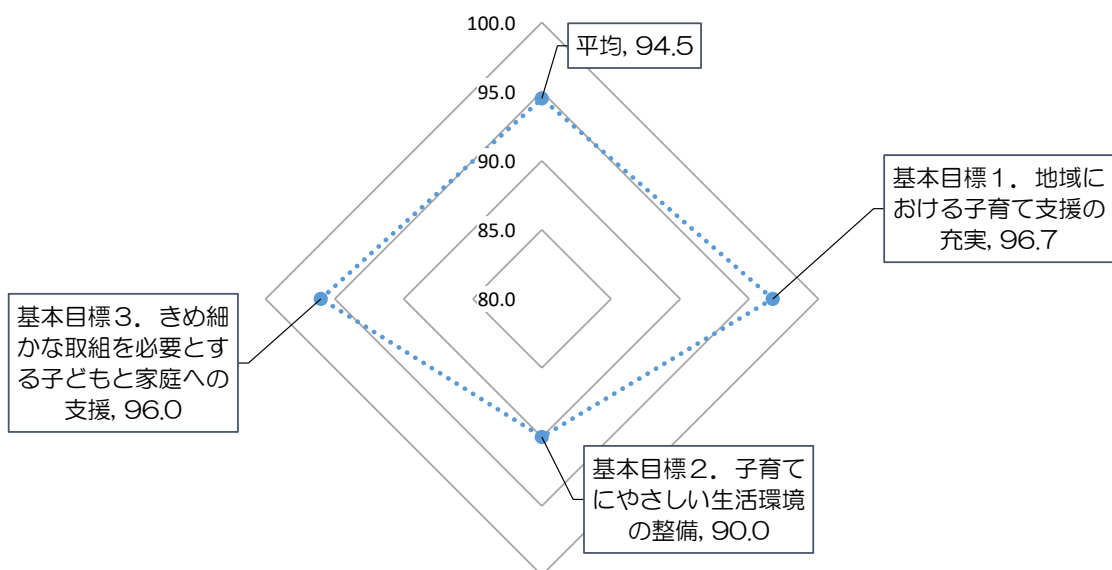
達成度	評価内容	達成状況
A	計画に掲げた施策を達成した。	80~100%
B	計画に掲げた施策を概ね達成した。	60~80%程度
C	現在、施策の達成に向けて動いている。 (半分程度実施した)	40~60%程度
D	現在、施策の達成に向けて動き始めている。 (施策に着手し、動き始めることはできた)	20~40%程度
E	現在、ほとんど手をつけていない。 (施策に着手することができなかった)	20%未満

## (2) 基本目標ごとの評価結果

各目標の施策ごとに採点（A：100点、B：80点、C：60点、D：40点、E：20点に配点）を行い、集計した結果、計画全体の評価点は94.5点となっています。

また、基本目標ごとの評価点は、「基本目標1 地域における子育て支援の充実」が96.7点と最も高く、次いで「基本目標3 きめ細かな取組を必要とする子どもと家庭への支援」が96.0点、「基本目標2 子育てにやさしい生活環境の整備」が90.0点と続いています。

概ね、計画に掲げた施策を達成できた評価となっています。



評価点	基本目標
96.7点	基本目標1 地域における子育て支援の充実
90.0点	基本目標2 子育てにやさしい生活環境の整備
96.0点	基本目標3 きめ細かな取組を必要とする子どもと家庭への支援
94.5点	計画全体

### (3) 基本目標ごとの主な課題と今後必要な取組

#### 基本目標1. 地域における子育て支援の充実

##### 情報提供の充実について

母子健康手帳交付時だけでなく各種相談事業を実施し、情報提供や相談に応じました。また、地域子育て支援センターでの発育測定等も実施し、情報提供体制の充実に努めました。今後は、SNS など子育て世代に届きやすい情報発信ツールを活用する必要があります。

#### 基本目標2. 子育てにやさしい生活環境の整備

##### 男女共同参画意識の啓発について

ポスター掲示等で男女共同参画意識の意識啓発を図りましたが、講習会等の開催はできませんでした。講習会等の実施は現実的ではないため、意識啓発をどのように実施していくことができるのか、今後検討が必要です。

##### ワークライフバランス等に関する啓発活動の推進について

仕事と出産・子育ての両立が可能な職場環境づくりに向けて、男性の育児休業制度のさらなる普及・啓発・推進の広報活動が必要です。

#### 基本目標3. きめ細かな取組を必要とする子どもと家庭への支援

##### 母子家庭等保護者の就労支援について

ひとり親家庭等の就労を支援・促進するため、公共職業安定所等とのさらなる連携を図る必要があります。

##### 発達障がいのある児童に対する一貫した支援策の推進について

発達障がいのある児童に対して、乳幼児期から成人期までの切れ目ない支援が実施できるよう、関係各課で連携し情報を共有しながら、保護者や児童への支援を行う必要があります。